博　多　129

－博多遺跡群第171次調査報告－

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1041集

２００９

福岡市教育委員会

序

玄界灘に面し古くから大陸との文化交流の玄関口であった福岡市には、豊かな自然と文化が残されています。その中でも博多区は大陸との交流で古くから栄え、遺跡も多く存在しています。これらを保護し、未来へと伝えていくのは本市に課せられた責務であります。しかし、近年の著しい都市化による市街地の拡大により、その一部が急速に失われつつあることもまた事実です。福岡市教育委員会は開発によってやむを得ず失われていく遺跡について、事前の発掘調査を行い、記録の保存に努めています。

今回報告する博多遺跡群の発掘調査報告書は立体駐車場建築に伴う調査成果についての記録です。この調査では古代末から近世の集落を確認しました。本書が文化財保護への理解と認識を深める一助となり、また研究資料として御活用頂ければ幸いに存じます。最後に発掘調査から報告書の刊行に至るまで、多くの方々のご理解とご協力を賜りましたことに対して心から謝意を表する次第であります。

2009年3月31日

福岡市教育委員会
教育長　山田裕嗣

例　言

□本報告書は博多区祇園町566、585－1の立体駐車場建設に伴って2007年2月19日から6月15日にかけて発掘調査を行った博多遺跡群第171次調査の報告書である。
□本書に収録した発掘調査は福岡市教育委員会の屋山洋が担当した。
□遺構実測は大塚正樹と屋山が、遺構・遺物の写真撮影は屋山が、遺物実測は濱石正子、平川敬治、名取さつきが、製図は熊谷幸重、濱石正子が担当した。
□銅銭の分類等は福岡市埋蔵文化財センターの片多雅樹が担当した。
□本書で用いた方位は磁北である。
□本書に関わる図面・写真・遺物など一切の資料は福岡市立埋蔵文化財センターに収蔵・保管される予定である。
□貿易陶磁の分類は大宰府条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編－（2000年）太宰府市教育委員会を参照した。

遺跡調査番号	0670	遺跡番号	020127	分布地図番号	天神49
調査地地番	福岡市博多区祇園町566、585－1				
開発面積	1025㎡	調査面積	511㎡	調査原因	立体駐車場建設
調査期間	20070219～20070615		担当者	屋山　洋	

遺跡略号　ＨＫＴ－171
調査番号　0670

本 文 目 次

Ⅰ はじめに …… 1
Ⅱ 調査の記録 …… 3
1 調査の概要 …… 3
2 遺構と遺物 …… 3
3 小結 …… 27

表1 出土墨書土器一覧 …… 26
表2 出土銅銭一覧 …… 26
表3 遺構一覧表 …… 28

挿 図 目 次

第1図 周辺遺跡分布図（1/25,000） …… 2
第2図 調査地点位置図（1/8,000） …… 2
第3図 調査区周辺図（1/500） …… 3
第4図 調査区範囲図（1/400） …… 5
第5図 第1・2面全体図 …… 折り込み
第6図 第3・4面全体図 …… 折り込み
第7図 第5面全体図 …… 折り込み
第8図 土層実測図 …… 折り込み
第9図 SC 151 遺構・遺物実測図（1/40・1/3） …… 7
第10図 溝 遺構・遺物実測図（1/40・1/3） …… 8
第11図 井戸遺構・遺物実測図（1/30・1/3） …… 9
第12図 SE 280 井筒実測図（1/8） …… 10
第13図 SE 168 遺構・遺物実測図（1/60・1/30・1/3） …… 11
第14図 SE 168 遺物実測図（1/3・1/8） …… 12
第15図 土坑実測図1（1/40） …… 13
第16図 土坑実測図2（1/40） …… 14
第17図 土坑実測図3（1/40・1/6） …… 15
第18図 土坑出土遺物実測図（1/3） …… 16
第19図 SK 274・276 人骨出土状況実測図（1/10） …… 17
第20図 人骨横トレンチ出土遺物実測図（1/3） …… 17
第21図 SX 154 遺構・遺物実測図（1/60・1/3） …… 18

第22図　SX 204 出土遺物実測図（1/3） …… 19
第23図　水田（畑）　出土遺物実測図（1/3） …… 20
第24図　河川出土遺物実測図（1/3） …… 21
第25図　出土瓦実測図（1/3） …… 22
第26図　その他の出土遺物実測図（1/3・1/1） …… 23
第27図　円筒埴輪実測図１（1/3） …… 24
第28図　円筒埴輪実測図２（1/3） …… 25
第29図　墨書土器 …… 26
第30図　出土銭の透過X線画像 …… 26
第31図　金属製品実測図（1/2・1/1） …… 26

図　版　目　次

図版１　１．Ⅰ区１面　２．Ⅰ区３面 …… 34
図版２　１．Ⅰ区５面　２．Ⅱ区３面 …… 35
図版３　１．Ⅱ区５面　２．第５面調査区全景 …… 36
図版４　１．Ⅰ区１面　２．Ⅰ区２面　３．Ⅰ区３面　４．Ⅰ区４面　５．Ⅱ区３面
６．Ⅱ区３面北端 …… 37
図版５　１．SE041 井筒検出状況　２．SE041 完掘　３．SE158 土層　４．SE260
５．SE 272　６．SE 275 …… 38
図版６　１．SE168　２．SE168　３．SE168 井筒　４．SE168 井筒土層　５．SE280
６．SE280 井筒 …… 39
図版７　１．SK153 遺物出土状況　２．SK212 土層　３．SK259　４．SK144
５．SK 187 完掘　６．SK 146 …… 40
図版８　１．SX 274　２．SK 276　３．SX 204　４．SX 204 土層　５．SD 154　６．SD 154 … 41
図版９　１．SD 154 北端か　２．房州堀土層　３．房州堀土層　４．房州堀北側立ち上がり
５．人物埴輪正面　６．人物埴輪側面 …… 42
図版10　１．SX 271　２．SX 271 周溝杭出土状況　３．水田下層動物足痕　４．SC 151
５．SC 151　６．SC 151 飯銚壺出土状況 …… 43
図版11　１．Ⅰ区河川トレンチ土層　２．Ⅱ区東壁土層　３．Ⅱ区河川部確認トレンチ土層
４．SK 217 漆椀出土状況　５．SK 217 出土漆椀　６．SE168 井筒 …… 44

Ⅰ．はじめに

1．調査にいたる経過

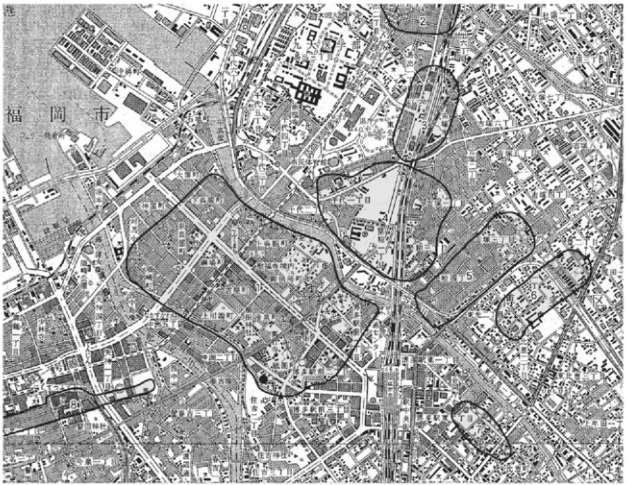
平成18年（2006年）6月26日付けで百田興産株式会社代表取締役百田孝志氏から福岡市教育委員会埋蔵文化財第1課に自走式立体駐車の建設に伴う埋蔵文化財事前審査申請書（18－2－308）が提出された。申請地は周知の埋蔵文化財である博多遺跡群の縁部に位置しており、隣接地の発掘調査でも古墳時代から近世を中心とした集落等の遺構が確認されており、申請地においても平成16年12月の確認調査（事前審査申請書16－2－808･832に基づく）では敷地の北東側で遺構と遺物を確認していた。このときの調査結果によると敷地東側では現地表面からの深さ60㎝で砂丘面に達し、古墳時代から近世にかけての遺構を確認している。その結果と建設予定建物の基礎設計を照らし合わせたところ、計画されている建物基礎では遺跡の破壊が避けられないため、建設に先立ち埋蔵文化財の発掘調査を行い記録保存を図ることで両者の合意が成立した。以上の協議をうけて平成19年（2007年）2月19日から6月15日の期間で発掘調査を行った。調査期間中は調査事務所、水道、廃土搬出など原因者及び関係者各位の多大なご協力を得た。

2．調査の組織

調査主体　教育委員会文化財部埋蔵文化財第1課
埋蔵文化財第1課課長　山口譲治
調査係長　米倉秀紀
調査庶務　（前）鈴木由喜　（現）古賀とも子（文化財整備課）
調査担当　屋山　洋
作業員　石田和子　乾　俊夫　岩田淳二　岩本三重子　大塚正樹　岡部安正　片岡武俊　河原明子
桑原美津子　小路丸嘉人　武田瀧子　堤　正子　豊田忠一　中島道夫　永田律子
中村健三　夏秋弘子　西田由喜　吹春憲治　本郷満子　前田佳代　村田敏子　安元尚子
水野由美子　西　美由喜
整理作業　大石加代子　熊谷幸重　藤野洋子　村上恵子

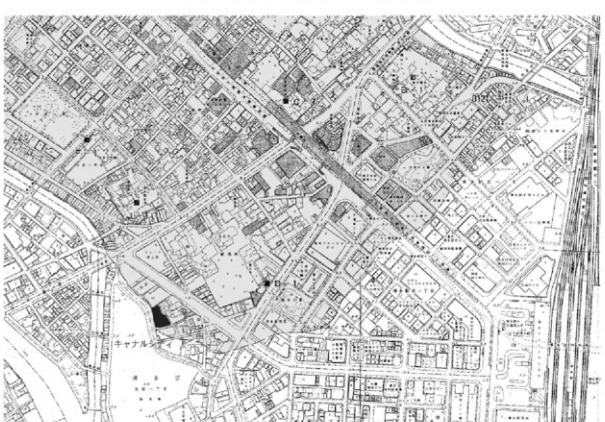
3．立地と環境

博多遺跡群は現在の地下鉄祇園駅から上呉服町までの砂丘Ⅰ・Ⅱと奈良屋町を中心とする砂丘Ⅲに分かれるが、砂丘Ⅲを当時の呼び方から沖ノ濱、砂丘Ⅰ・Ⅱを便宜的に博多濱と呼んでいる。もっとも古い遺構は博多濱で弥生時代中期甕棺などが確認されている。古墳時代になると博多濱東南隅に前方後円墳や方墳が築かれる。古代には地下鉄祇園駅の西側に方1町の官衙施設が作られ、周辺では石帯など役所関係の遺物が多く出土する。その後渤海使が廃絶すると、この施設を中心に中国人商人たちが住み始め、博多の発展の基礎を築いたとされる。その後博多は大陸、琉球との貿易拠点として栄えたが、江戸時代になり海外との交易が制限されると黒田藩の一貿易都市としての役割にとどまるようになった。本調査区は博多遺跡群の南西隅に位置する。元々は御笠川と那珂川の合流地点で、天然の堀で囲まれていたが、戦国時代に御笠川の流れを博多の東側に付け替え（現石堂川）、御笠川旧河川は房州堀と呼ばれ、博多の南側を守る堀となった。しかし、江戸時代になるとその意義を失い、近世中頃の絵図には堀の中に水田が描かれている。また堀は明治時代に埋められてその役割を完全に終えたが、今回近代の埋立て土を除去したところ、堀の下層で水田と思われる方形に巡る溝と、土留めの木杭列を確認することができた



第１図　周辺遺跡分布図（1/25,000）

1．博多遺跡群　2．箱崎遺跡　3．吉塚本町遺跡　4．堅粕遺跡
5．吉塚遺跡　6．豊遺跡　7．駅東生産遺跡　8．福岡城跡前堀



第２図　調査地点位置図（1/8,000）　　は博多遺跡群の範囲（2009年３月現在）

第３図　調査区周辺図（1/500）

Ⅱ．調査の記録

1．調査の概要

敷地全体が建物の建設予定範囲であるが、平成16年度の確認調査によると敷地の南西側は河川堆積になっており（本調査地点と西側のキャナルシティの間の道は旧河川で、今度の調査時にも道路境界に沿って護岸と思われるコンクリート壁を確認した。）、西南隅部では遺構が確認できないことから敷地の南西部を調査の対象地から外し、北東壁に沿った511㎡を調査対象とした。

砂丘は調査区東端部では現表土直下（標高3m）で出土するものの、西側に向かって急激に落ちており、西端部では表土からの深さ2.4ｍ（標高0.9ｍ）を測り、高低差は2.1ｍにもなる。西側斜面上には黒褐色包含層が堆積しているが、この堆積は河川による浸食が終わった中世後半から近世以降である。近代初頭にはまだ高低差が見られたが、その後炭化物や近代陶器などを多く含む層で一気に埋められ、平坦面を為す。近代埋立て層の土量が多く、廃土置き場に置ききれないことから、最初に重機をいれて、近代埋立て土を場外搬出することとなった。調査はまず2月15日から19日まで近現代堆積土の表土剥ぎから始まった。その後、調査を開始したが、博多遺跡群としては調査面積が広く一度に全体の調査をするのは困難だったため、南北に分けて北側をⅠ区、南側をⅡ区とした。Ⅰ区は前述したように東側が高く、西側に向かって低くなる。Ⅱ区は北東端がわずかに高いだけで南側と西側に向かって傾斜するが、これは砂丘南側に位置する東西方向の堀（房州堀）と砂丘の西側を流れる河川に向かって傾斜するためで、本調査地点は博多遺跡群の南西端に位置するものである。

2．遺構と遺物

1）竪穴式住居　調査区中央部の砂丘上で1軒検出した。

SC 151（第9図） 調査区中央部の砂丘上面西端に位置する。御笠川に砂丘西側が削られたため、本遺構も西側半分が削平されている。南北5m、東西2m、深さ 30cmを測る。覆土中から古墳時代前期の土器と須恵器がまとまって出土した。出土遺物（001～009）。001は二重口縁壺である。淡黄褐色を呈す。002は鉢である。胴部は縦方向、肩部は横方向に密なミガキで、口縁はハケ後横方向に密なミガキを施し、その後粗い縦方向のミガキを施す。003は長頸壺である。内外面とも縦方向のミガキを施す。004は復元口径10cm、残存高5cmを測る。器壁は1.6cmと厚い。外面は縦ヘラナデ後横ナデ、内面はナデを施す。色調は赤褐色から黒褐色で被熱している。胎土は白色砂を多く含む。坩堝の可能性がある。005～009は甕壺である。黄褐色を呈し、焼成は良好である。

2）溝 6条出土した。

SD 036（第10図）調査区北側に位置し主軸をN－64°－Wにとる。長さ330cm、幅40cm、深さ24cmを測る。北西端から90cmで段を持ち、中央部が最も深い。覆土中から青磁碗、白磁碗、染付、陶器甕や土師坏・皿（糸切り）の他に古墳時代の土師器も多く出土した。中世後半か。出土遺物（010～012）。010、011は染付の碗小片である。012は青磁輪花碗である。

SD 047（第10図） Ⅰ区1面の中央に位置する東西方向の溝で主軸をN－73°－Eにとる。東側を攪乱に切られており、現状で長さ90cm、幅47cm、深さ17cmを測る。遺物は小片が多く染付、陶器、土師坏・皿（糸切り）の他に8世紀の須恵器高台付坏や古墳時代の土師甕が出土した。中世後半か。

SD 077（第10図） Ⅰ区1面の北端に位置し主軸をN－49°－Eにとる。北東端をSP 078と攪乱に切られており、現状で長さ170cm、幅52cm、深さ24cmを測る。底面は幅狭く、断面逆三角形を呈す。土師坏（ヘラ切り）、土師皿（糸切り）の他に古墳時代土師壺等が出土した。12～13世紀か。

SD 079（第10図） SD 077に並走する。現状で長さ160cm、幅51cm、深さ24cmを測る。白磁小片、陶器片、土師皿（糸切り）等が出土した。時期は判りづらいがSD 077と並走することから12～13世紀か。

SD 148（第10図） Ⅰ区2面中央に位置し西側をSE 168に切られる。主軸をN－77°－Eにとる。現状で長さ115cm、幅70～80cm、深さ45cmを測る。北側にテラスが付く。染付小碗、陶器片、瓦質片口擂鉢、土師坏・皿（糸切り）などが出土した。中世後半から近世か。

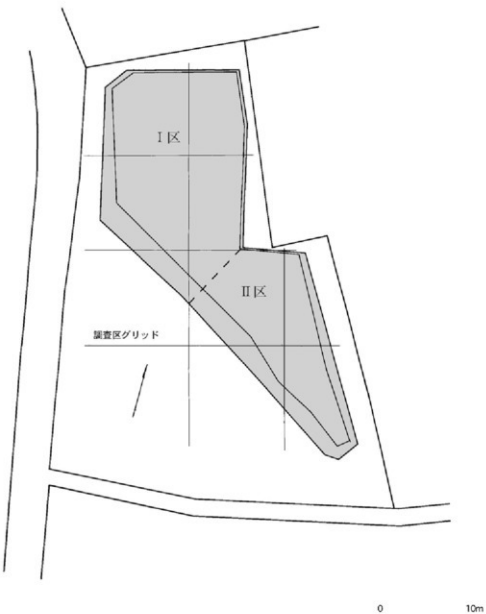
SD 200（第10図） 調査区のⅡ区2面中央に位置し主軸をN－85°－Eにとる。西側を攪乱、東側を195に切られる。長さ140cm、幅57cm、深さ8cmを測る。染付が出土しており中世後半から近世か。

3）井戸 調査区全体で8基検出した。

SE 041（第11図） Ⅰ区1面南側に位置する。平面形は東西に長い楕円形を呈し長径130cm、短径110cm、深さ156cmを測る。断面はほぼ垂直であるが、底面付近でややすぼまる。底面標高は0.7mで井戸の可能性が高いと思われる。染付碗・鉢、陶器碗など近世の遺物の他、7～8世紀の須恵器、古墳時代土師器、弥生時代Ⅰ型口縁などが出土した。特に古墳時代の土師器が多く出土している。出土遺物（013、014）。013は染付碗底部である。見込みに「善」の字を配す。014は陶器鉢である。

SE 158（第11図） Ⅰ区1面南側に位置する。平面形は円形を呈し径120cm、深さ160cmを測る。断面は深さ120cmまではやや緩やかにすぼまり、底面上部は垂直である。土層観察では底面直上で壁に貼りつくような曲物の痕跡が見られた。覆土は底面から15cmは暗灰褐色土でその上は黒褐色砂質土である。底面標高は0.7mである。染付碗（015）、褐釉陶器、陶器盤、青磁などが出土した。近世前期か。

SE 260（第11図） Ⅰ区5面北端で検出した瓦組みの井戸である。掘方平面は南北に長い楕円形を呈し、長径82cm、短径79cm、瓦上端からの深さ40cmを測る。井筒も楕円形を呈しており、長径70cm、



第４図　調査区範囲図（1/400）

短径60cmを測る。長さ35cm前後、幅25cm前後の瓦8枚を組み井筒とする。掘方底面の標高は0．4ｍである。、瓦組みは1段のみであるが、SE 168 井筒の深さが45cmであることを考えると、もともとこの1段のみであった可能性がある。出土遺物。016は染付片、017と018は白磁碗である。近世。

SE 272（第11図）　Ⅰ区5面中央部に位置する。SE 260と同様に1段のみの検出である。掘方はほぼ円形を呈し、径75cmを測る。井筒は瓦6枚を組んで径50cmを測るが、端部がずれて重なるなど組み方は乱雑である。瓦は長さ、幅共に30cm程のものを使用している。掘方底面の標高は0．3ｍである。井筒瓦の他に白磁碗Ⅳ類口縁（019）と土師皿（020でヘラ切り）が出土した。時期は近世である。

SE 275（第11図）　Ⅰ区北西側に位置する瓦組みの井戸である。掘方はやや楕円形を呈し長径90cmを測る。井筒は長さ32cm強、幅25cm前後の瓦を底面から3～4cmほど浮かせて円形に並べ、掘方と井筒の隙間に割れた瓦を差し込んで井筒を安定させている。掘方底面の標高は0．6ｍを測る。時期は近世であるが、遺物は白磁碗Ⅴ類や須恵器甕、土師質鉢、壎など古い時期の遺物のみである。

SE 280（第11図）　Ⅰ区2面東端部に位置する。掘方東側が調査区外に伸びるが、平面は円形を呈し

ており、径1.4m、深さ1.42mを測る。断面はややすぼまりながら逆台形を呈し、底面上60cmで段がつく。井筒は瓦質の専用品で口径66cm、高さ64cmを測り、口縁部は2重口縁状に開く（第12図024）。上部構造は瓦組みで、井筒の口縁が開くのは上に井筒を乗せるための平坦面と思われたが、上部を打ち欠いた高さ15cm程の瓦を口縁外周に並べた状況で出土した。遺物（021～023）の他、掘方から桟瓦が出土した。

SE 168（第13図）　Ⅰ区2面中央に位置する。砂丘の西端を削るように長径6.7m、短径4.0mの長方形に掘下げ、底面やや北寄りに井筒を据える。砂丘側の東側長辺は石組みで径30～70cmの礫を2～3段ほど積んで壁を構築している。現状は2段積みで高さが50cmほどしか遺存していないが、本来は1m程あったものと思われる。井筒を中心として約1.7mの範囲を10cm前後掘下げ、更に径80cmの円形に掘下げて井筒を据える。井筒は瓦質鉢（第14図043）で下端を打ち欠いて使用、口径81cm、高さは現状で46cmを測る。器壁の厚さは1.5cmである。色調は暗灰色を呈し、口縁上面に「大」の字の線刻が見られる。底面標高は0.3mである。土坑掘方内はレンズ状の堆積で、東側からの流れ込みが多い。上層では近世陶磁器などが多量に出土した。井戸埋周囲の掘方平坦地はなんらかの作業場か。SE 260や272、275など西側旧河川底面で出土した瓦を一段組んだ井戸は、上部構造が破壊されたのではなく、旧河川底面に掘った周囲の平坦地を作業スペースとする井戸であったと思われる。用途としては限定できないが周囲では旧河川底面に水田もしくは畑を作っており、それらへ水を供給する役目なども考えられる。出土遺物（第13･14図025～042）。025～028は掘方上層から出土した。025は陶器壷である。内面に白褐色のガラスが付着する。坩場として使用している。026は象嵌青磁、027は土製鈴片、028は瓦玉である。029～042は下層から、031は井筒内から出土した。029・030は染付皿、031は青白磁皿、032は陶器碗、033は陶器擂鉢、034は常滑焼の甕である。035・036は白磁、037は須恵質の壷口縁で暗灰色を呈し胎土には白色砂と黒色粒を少量含む。高麗陶器か。038は復元口径6cm程、残存高2.3cmを測り淡灰褐色を呈す。胎土中に細砂を少量含む。調整は手捏ねで内面に黒色の付着物が付く。坩場か。埋蔵文化財センターの分析では、青銅を検出した。039は人形の頭部である。淡黄褐色を呈し砂粒を少量含む。焼成は軟質。大きく口を横に開いており両側に牙を持つ。鬼の頭部か。下面は破損しておらず胴部へ差し込むものと思われる。041・042は土製鈴である。

4）土坑

(1)古墳時代

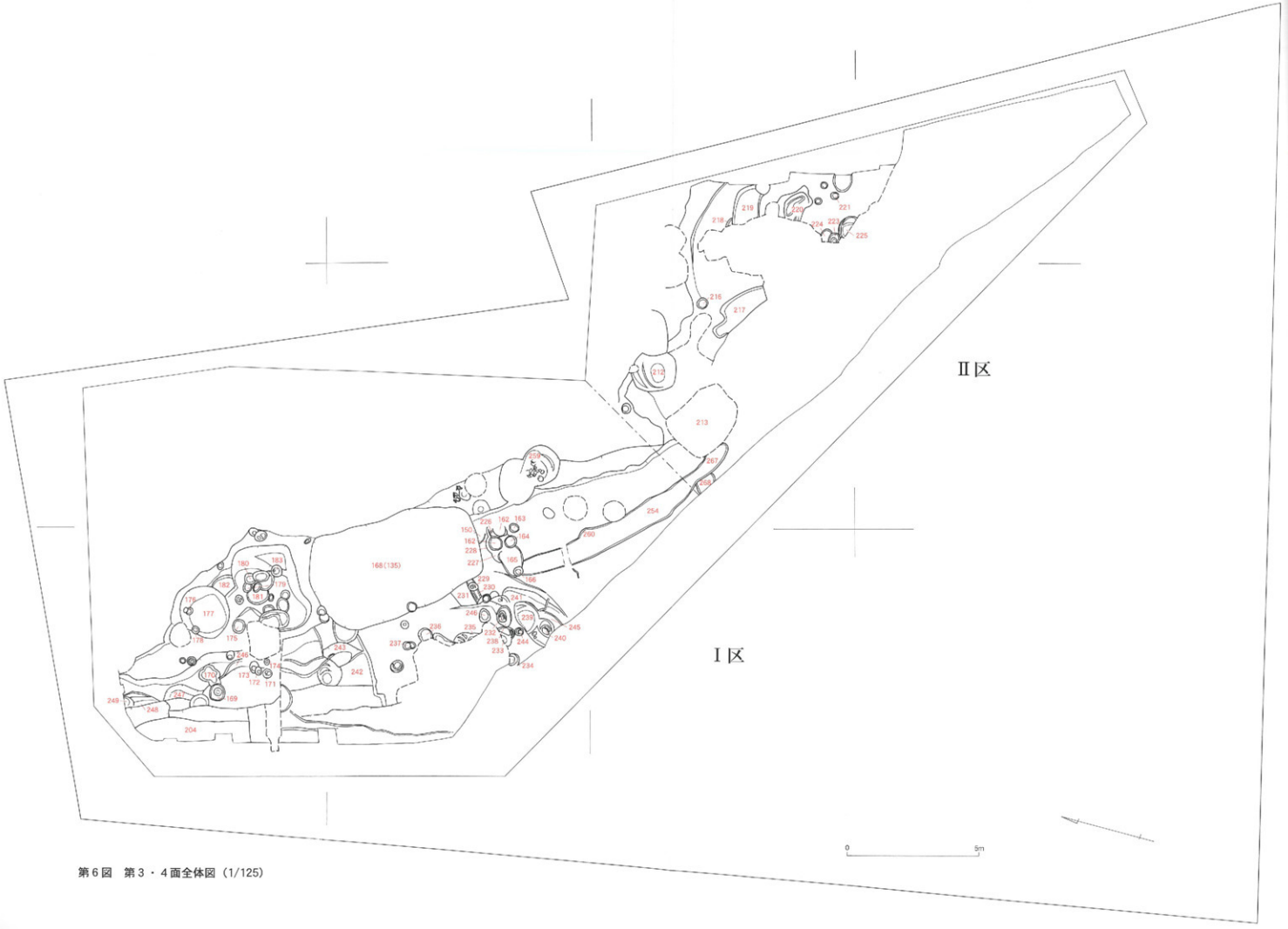
SK 044（第15図）　Ⅰ区1面東端に位置する。北側以外は切られているが、現状で南北1.3m以上、東西80cm前後、深さ34cmを測る。土師器片が20点程と蛸壺片が出土した。出土遺物（第18図045・046）045は土師甕口縁で「く」の字に立ち上がる。046は壷口縁で淡黄赤褐色を呈す。古墳時代前期。

SK 069（第15図）　Ⅰ区1面東南端に位置する。東側が調査区外に伸びるが、平面は円形もしくは楕円形を呈すと思われる。現状で南北1.4m、東西45cm、深さ37cmを測る。二重口縁壷、土師甕、小型丸底壷が出土した。出土遺物（第18図047・048）。047は二重口縁壷、048は長径壷である。古墳時代前期。

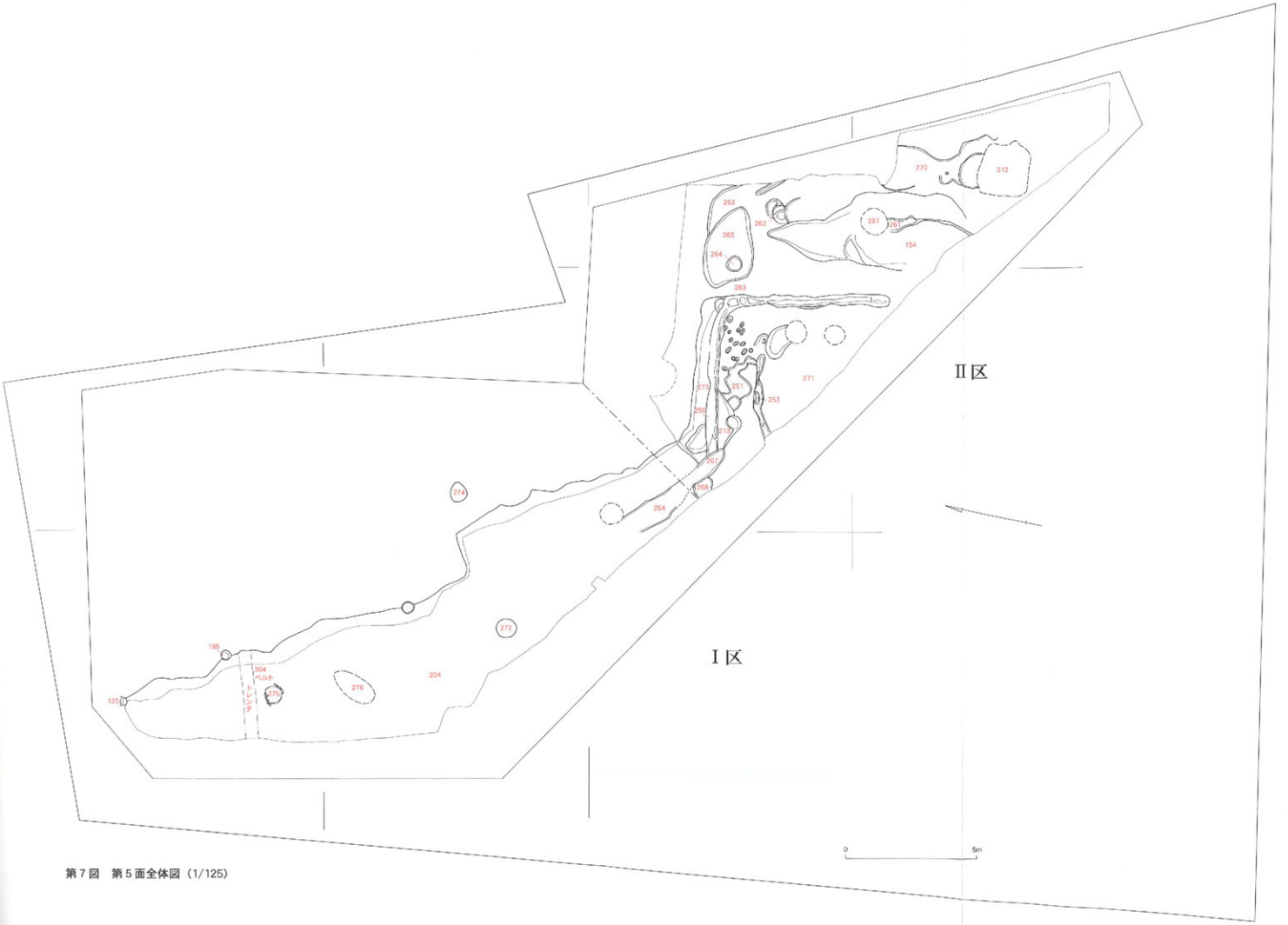
(2)中世～近世

SK 015（第15図）　Ⅰ区1面北西端に位置し、主軸をN－67°－Wにとる。長径156cm、短径142cm、深さ52cmを測る。東西両端にテラスを持ち、底面から25cm上で段が付き、それから上は断面浅皿状、下は逆台形を呈す。龍泉窯系青磁碗、白磁碗Ⅳ・Ⅴ類、陶器鉢Ⅰ－1bなどが出土した。出土遺物（第

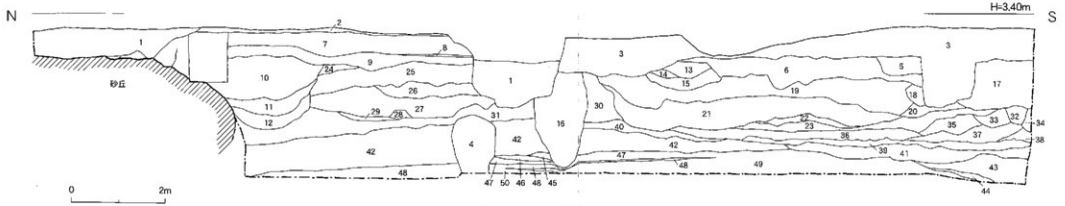
第５図　第１・２面全体図（1/125）



第６図　第３・４面全体図（1/125）

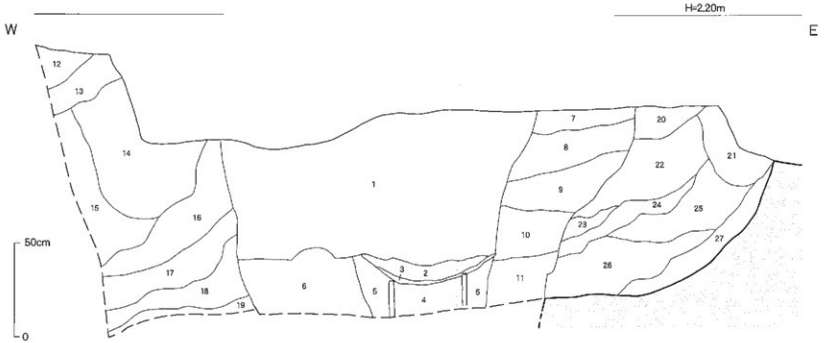


第７図　第５面全体図（1/125）



第８図　Ⅱ区東壁土層図（1/60）

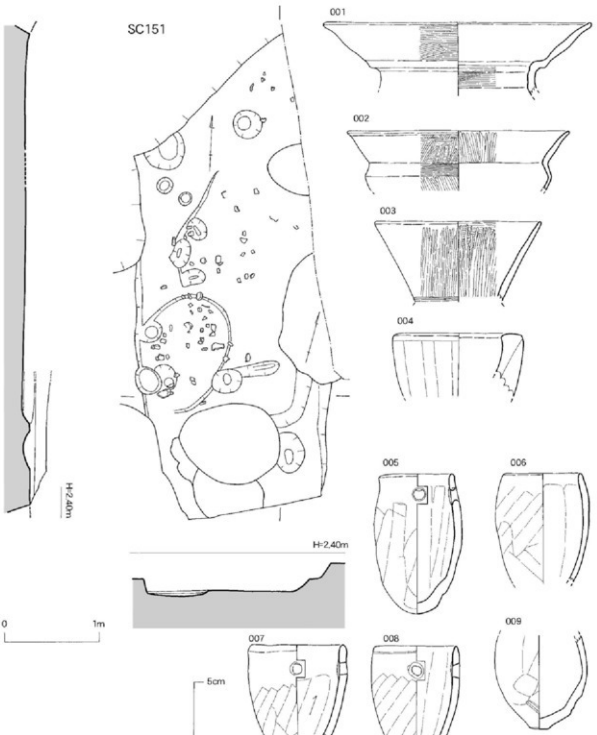
1.撹乱
2.砂利
3.灰褐色土　(近代～現代)
4.井戸　(近代)
5.灰褐色土　ガラまじり
6.暗褐色土　炭化物木片を独層状に多量に含む
7.暗褐褐色土　ガラまじり
8.褐砂層
9.黒褐色土　近代
10.暗褐色土
11.褐黄褐色砂質土
12.褐色砂質土　地山砂を層状に含む
13.暗褐色土　炭化物片を多量に含む
14.褐色土
15.暗褐色土　炭化物等は13層より少ない
16.黒褐色土　井戸埋方
17.灰茶褐色土
18.灰茶褐色土　白色粗砂と炭化物小片を多く含む
19.暗茶褐色土　粗砂、炭化物小片含む
20.茶灰褐色土　炭化物小片を多く含む
21.暗灰褐色土　土器片、瓦片を多量に含む
22.茶褐色細砂
23.暗灰褐色土　コークスマを多量に含む
24.灰褐色土　近代
25.茶褐色砂質土　粗砂多く含む
26.暗茶褐色砂質土　粗砂をわずかに含む
27.茶褐色砂質土　25層より明るい
28.茶褐色細砂
29.黄褐色粗砂層　褐色土を少量含む
30.茶褐色土　細砂多く含む
31.黄褐色砂　細砂と中砂の互層
32.茶褐色砂質土　瓦片を多量に含む　近代
33.灰褐色土　下層は砂を多量に含む
34.褐褐色土
35.灰色土　白色砂多く含む
36.褐灰褐色土　細砂多量に含む
37.褐色砂　耕作土（暗灰褐色土）を層状にはさむ
38.褐色土少砂（細砂）、暗褐色土（耕作土）を間にはさむ、互層状の堆みあり
39.暗茶褐色土（耕作土）
40.灰白色砂質土　中砂と細砂まじる
41.茶褐色細砂層
42.細砂層　粗砂と中砂の互層で下層ほど粒大きい
43.黄褐色砂　粗砂と中砂の互層
44.暗褐色土　漸層のベトベトした土　土器片と礫を多量に含む
45.赤褐色粗砂　河川堆積
46.黄褐色シルト
47.黄褐色細砂
48.黄白色シルト
49.黄褐色砂層　(粗砂と細砂の互層)
50.黄白色シルト



第８図　SX204ベルト土層図（1/20）

1.暗褐色砂質土
2.暗灰褐色砂質土
3.茶褐色粗砂
4.暗灰褐色砂質土
5.暗灰褐色砂質土　白色細砂含む
6.暗灰褐色砂質土
7.暗褐色土　粗砂多い
8.暗茶褐色土
9.灰茶褐色土
10.灰褐色土
11.暗灰褐色土　粗砂多く含む
12.茶褐色砂質土
13.暗褐色砂質土
14.暗色土
15.暗褐色土
16.暗灰褐色土
17.暗灰茶褐色土
18.暗灰褐色砂質土
19.暗褐色粗質土
20.暗茶褐色土
21.茶褐色土
22.茶灰褐色土
23.灰褐色土
24.暗褐色土
25.茶灰褐色土
26.暗褐色土
27.暗茶褐色粗砂

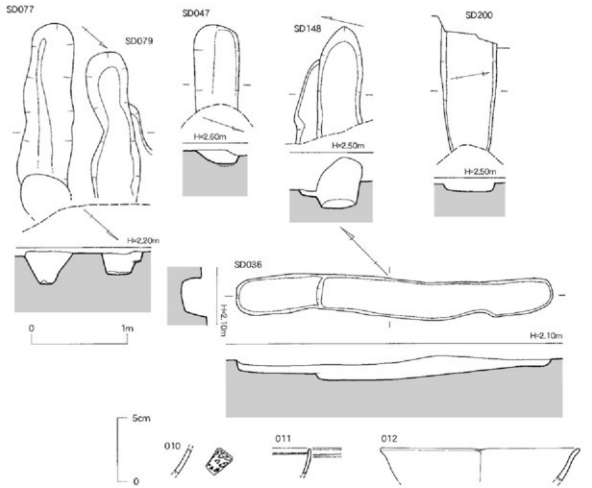
SE275土層



第 9 図　SC 151 遺構・遺物実測図（1/40・1/3）

18 図 049 ～ 057）。049 は染付碗、050 は陶器鉢、051 は陶器甕である。052 は青磁で内面は口縁を除き露胎である。053 は陶器鉢Ⅰ類、054 は瓦質擂鉢、055 は土製品である。056・057 は砂岩製で 057 には断面Ⅴ字の擦り込みが見られる。再利用品と思われる。中世後半～近世か。

SK 018（第 15 図）　Ⅰ区1面中央に位置する。平面は楕円形を呈し長径 137㎝、深さ 36㎝ を測る。断面は浅皿状を呈し底径 73㎝を測る。出土遺物（061 ～ 064）。061は白磁である。062 は土師坏、063



第 10 図　溝　遺構・遺物実測図（1/40・1/3）

は土師皿でいずれも糸切りである。064 は瓦片である。いずれも小片のみの出土である。中世か。

SK 109（第 15 図）　Ⅰ区2面北端部に位置する。長径 106cm、深さ 13cm を測る。断面は浅皿状を呈す。白磁碗Ⅴ類、白磁輪花碗、陶器片、土師坏・皿（糸切り）などが出土した。13 ～ 14 世紀か。

SK 157（第 15 図）　Ⅱ区2面北端に位置する。南側をSK 158 等に切られているが、現状で長径 150 cm 以上、深さ 66cm を測る。龍泉窯系青磁片、白磁碗、土師坏（糸切り）等が出土した。13 世紀か。

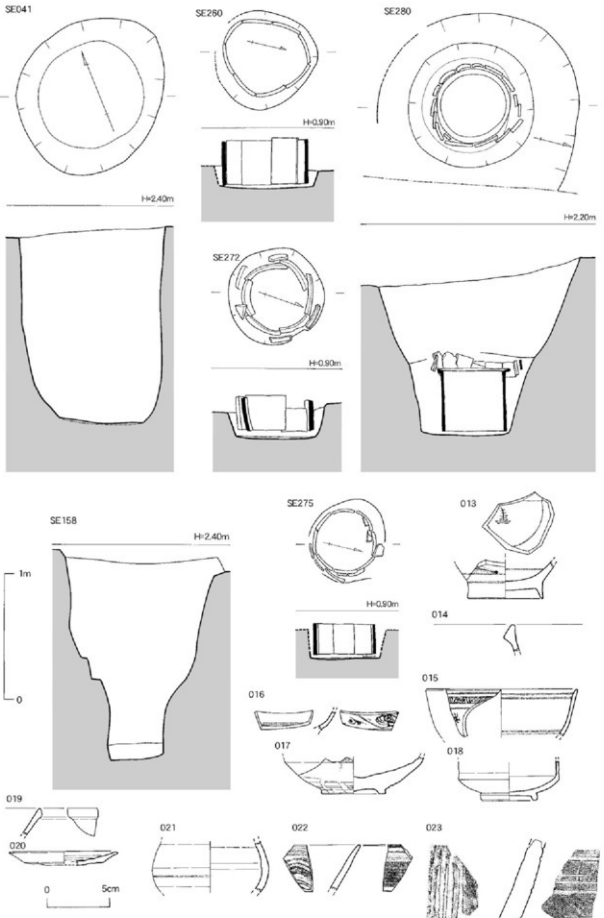
SK 161（第 15 図）　Ⅱ区2面北端に位置する。平面は南北にやや長い楕円形で長径 150cm、深さ 79cm を測る。西側にテラスをもち、東側が下がる。南端は掘りすぎである。染付、白磁皿、国産陶器甕片、土師皿（糸切り）などの他、古代の須恵器高台付坏、滑石片などが出土した。出土遺物（第 18 図 065 ～ 067）。065 は陶器、066・067 は軒丸瓦である。中世後半か。

SK 177（第 15 図）　Ⅰ区3面北端に位置する。平面は円形で径 190cm 強、深さ 43cm を測る。白磁瓶、白磁碗、陶器盤、土師坏・皿（糸切り）、土師椀、瓦器片が出土した。出土遺物（第 18 図 058 ～ 060）。058 は陶器である。坏部内面は施釉するが、外面は口縁以外は露胎である。059・060 は糸切りで、059 は板状圧痕が見られる。060 は口縁が黒く煤ける。灯明皿である。12 ～ 13 世紀か。

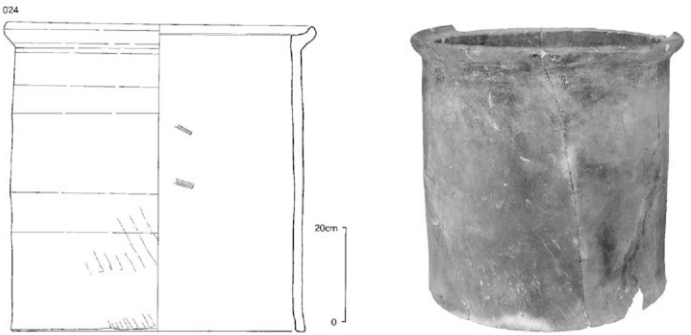
SK 189（第 15 図）　Ⅱ区3面北側に位置し、西側を攪乱に切られる。南北 172cm、深さ 53cm を測る。断面は逆台形を呈す。白磁片、陶器片、土師坏・皿（糸切り）、瓦質擂鉢等が出土した。中世後半か。

SK 191（第 15 図）　Ⅱ区3面北側に位置する。長径 106cm、深さ 16cm を測る。断面浅皿型を呈す。白磁片、須恵器甕の他、須恵器坏（6C）、土師器甕（古墳時代）、円筒埴輪が出土した。中世前半か。

SK 202（第 15 図）　Ⅱ区3面中央東端に位置する。現状で南北 125cm 以上深さ 46cm を測る。南側に



第 11 図　井戸　遺構・遺物実測図（1/30・1/3）



第 12 図　SE 280 井筒実測図（1/8）

テラスが2段付き、北側へ下がる階段状を為す。磁器瓶、陶器耳壺、瓦質火鉢（第 18 図 072）、土師坏等の他に古墳時代の土師器甕、土師器壺突帯部が出土した。中世後半か。

SK 212（第 16 図）　Ⅱ区4面北端に位置する。平面は南北に長い隅丸長方形を呈し長径 172cm、深さ 43cm を測る。白磁片、国産陶器甕、須恵器坏蓋、蛸壺、円筒埴輪などが出土した。11 ～ 12 世紀。

SK 220（第 16 図）　Ⅱ区4面東端に位置する。平面は東西に長い不正型で幅 103cm、深さ 38cm を測る。底面中央に幅 23cm の溝状掘り込みがある。白磁碗Ⅱ類、陶器盤、陶器大甕、須恵器高台付き坏、土師坏・皿（糸切り）、瓦質擂り鉢などが出土した。12 ～ 14 世紀か。

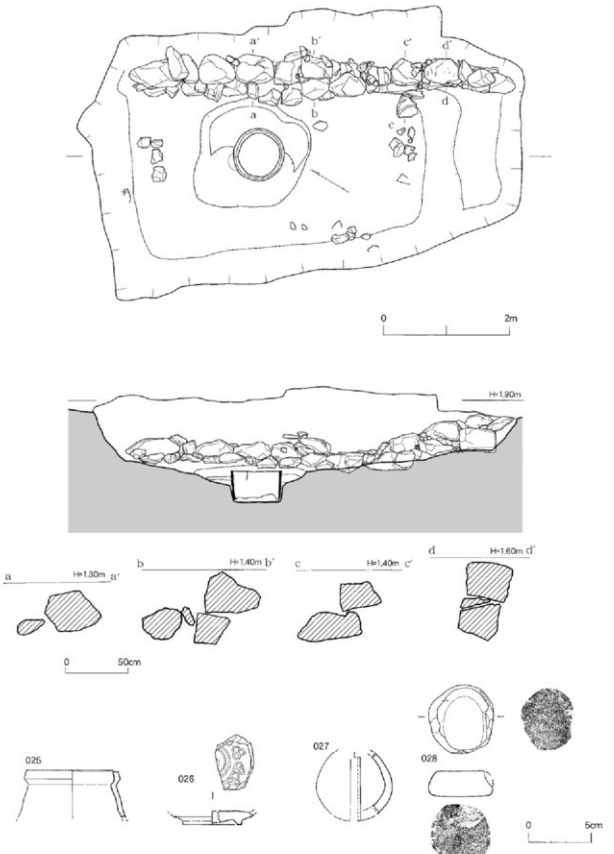
SK 241（第 16 図）　Ⅰ区4面中央部西端に位置する。南北に長いが西側は削平を受けている。現状で南北 2.5 m以上、深さ 23cm を測る。青磁片、白磁片、染付片、土師坏（糸切り）、瓦（須恵質）などが出土したが小片のみで時期決定は困難である。出土遺物（第 18 図 078・079）。どちらも糸切りの土師坏で、078 は板状圧痕がある。079 は灯明皿である。近世に降る遺物が無いことから中世と考えられる。

SK 243（第 16 図）　Ⅰ区4面中央に位置する。2方を削平され掘方平面は不明である。現状で東西1m以上、深さ 30cm を測る。龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白磁碗Ⅷ類、白磁皿Ⅵ類、白磁皿Ⅸ類、陶器擂鉢、土師坏（糸切り）などが出土した。14 世紀と考えられる。

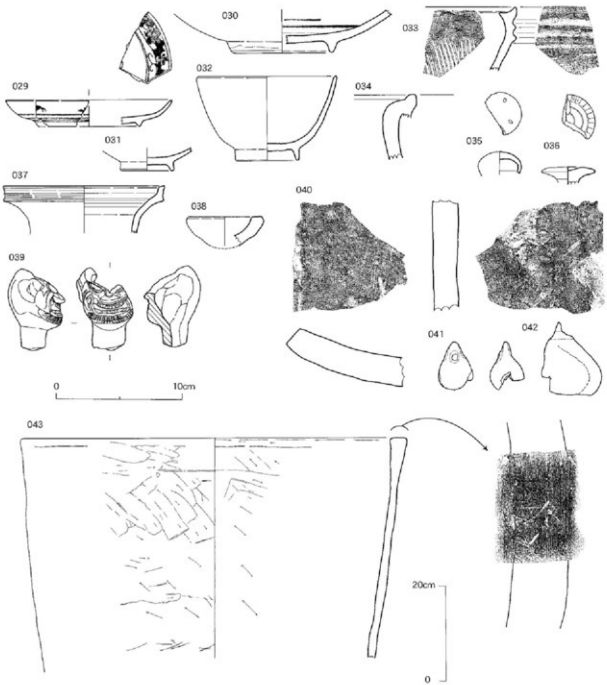
SK 247（第 16 図）　Ⅰ区4面北端に位置する。現状で南北 130cm 以上、深さ 46cm 以上を測る。土師坏（糸切り）、土師甕片が出土した。小片のみで時期決定は困難である。中世か。

SK 259（第 16 図）　Ⅰ区4面南側に位置する。平面は東西に長い楕円形を呈し長径 162cm、深さ 98cm を測る。深さ 40cm まではやや緩やかな傾斜でその下は断面V字型を呈す。その境界近辺で径 20cm ほどの礫がまとまって出土した。他にも北西側3mの地点でも同様に礫が集中して出土しており根石の可能性が考えられる。白磁碗Ⅳ類、陶磁器、須恵器甕、蛸壺、円筒埴輪等、古墳時代から古代にかけての遺物も多く出土した。11 ～ 12 世紀か。

SK 209（第 16 図）　Ⅱ区3面北側に位置する。平面は不整形で東西長 180cm、深さ 43cm を測る。遺物は近世の可能性がある陶器碗の他、白磁碗Ⅱ・ⅩⅠ類、須恵質擂鉢、瓦等が出土した。近世か。



第 13 図　SE 168 遺構・遺物実測図（1/60・1/30・1/3）



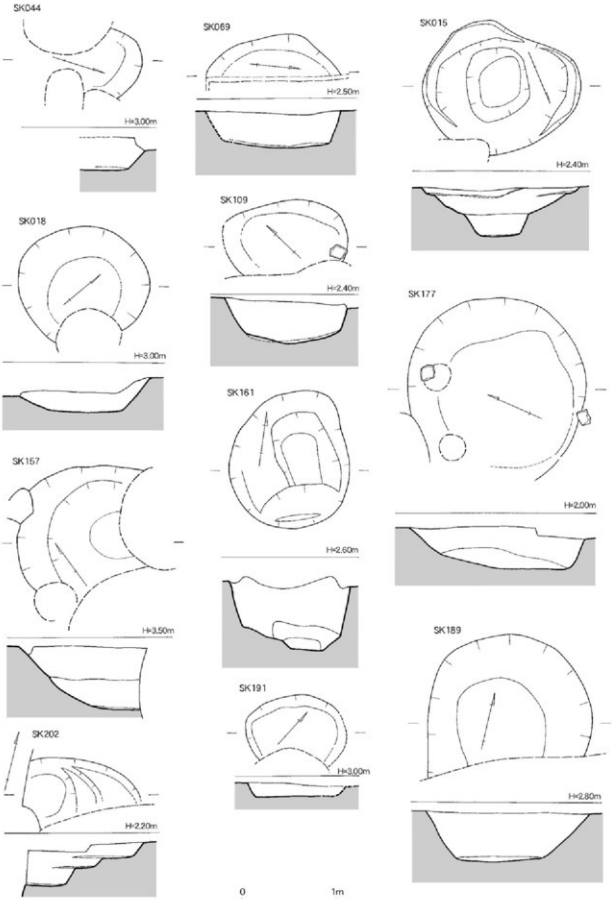
第 14 図　SE 168　遺物実測図（1/3・1/8）

SK 217（第 16 図）　Ⅱ区4面北側に位置する。現状で東西長 253cm、深さ 23cm を測る。染付碗の他、白磁Ⅲ区類、陶器大甕、瓦片等が出土した。近世か。

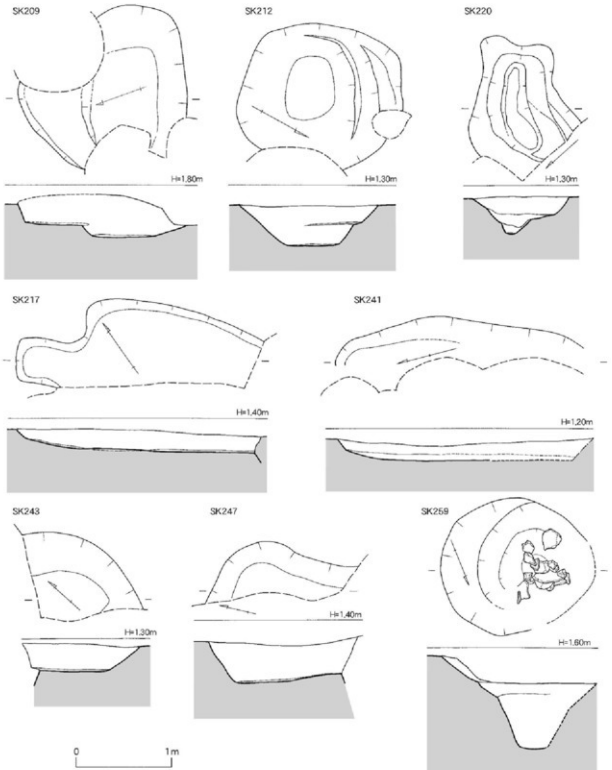
(3)不明遺構

SK 144（第 17 図）　Ⅰ区4面南側に位置しN－ 36° －Eを測る。平面は長方形を呈し長径 86cm、短径 73cm、深さ 83cm を測る。深さ 57cm で北側にテラスを持ち、下段は方形（52cm 前後）を呈す。井戸の可能性もあるが底面標高は 1.4ｍとやや高い。下段を木板で囲んだ倉庫か。テラスに瓦を敷いている。覆土中から染付小碗、陶器碗、陶器Ⅲや七輪とともに円筒埴輪など古墳時代や古代の遺物が出土した。

SK 187（第 17 図）Ⅱ区3面北側に位置する。平面は東西に長い楕円形を呈し、主軸をN－ 88° －Eにとる。長径 174cm、深さ 126cm を測る。深さ 83cm まで掘り下げた後、底面東側を径 94cm、深さ 43cm に掘り下げる。底面から2～8cm 浮いた状態で瓦が2枚出土した。底面標高は 0.5ｍを測る。井



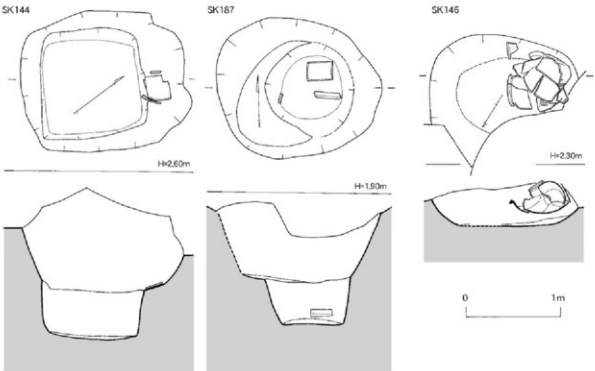
第 15 図　土坑実測図 1 (1/40)

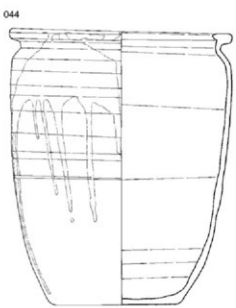


第 16 図　土坑実測図 2 (1/40)

戸の可能性があるが、土層観察では井筒等は検出できなかった。出土遺物(第18図068～071)。068は土師皿（糸切り）である。069は瓦質擂鉢、070は須恵器で底部に線刻が、071は土師質甕で外面に線刻あり。

SK 146（第 17 図）　Ⅰ区3面南側に位置する。長径 116cm、深さ 36cm を測る。掘方西端では底面から 10cm 浮いた状態で横倒しになって割れた陶器甕（第 17 図 044）が出土した。甕は破片の位置関係から割れた状態で埋められたことが判る。人骨は出土していないが、頭部に甕を被せるなどの埋葬





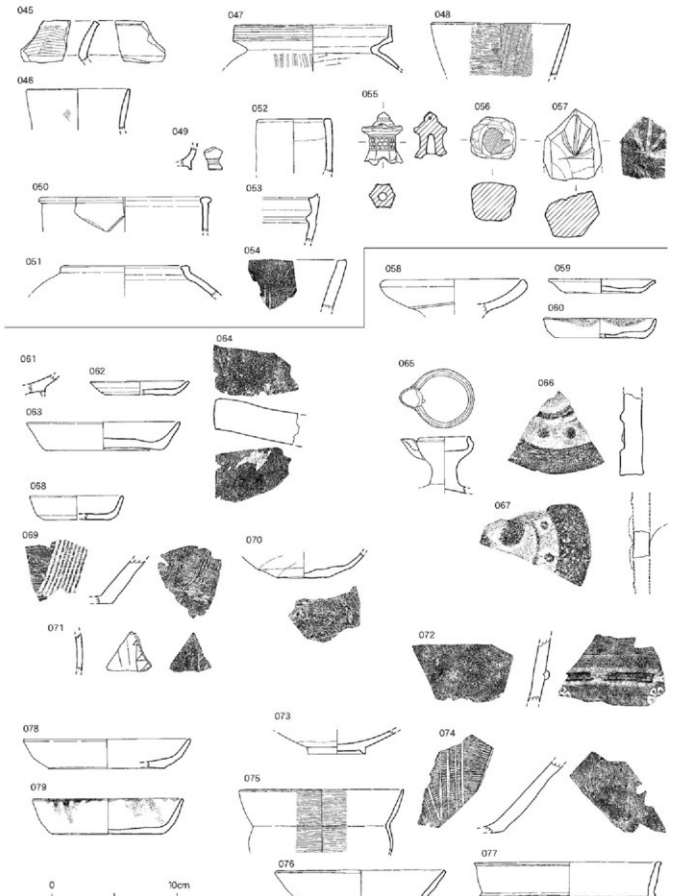
第 17 図　土坑実測図 3 (1/40・1/6)

土坑である可能性が考えられる。口径 34㎝、高さ 41.3㎝ を測る。黄褐色を呈し、口縁と肩部に白色釉がかかる。

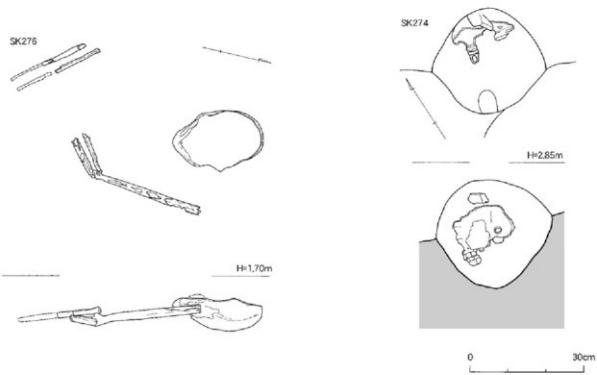
5）墓　埋葬遺構を2基確認した。東側の第 182 次調査でも旧河川堆積上で中世の人骨が検出されており、御笠川が東側に流路を変えた後の河原は都市の領域外として死体を廃棄する場として認識されていたものと思われる。

SK 274 (第 19 図)　Ⅰ区2面中央に位置する。径 30㎝、深さ 28㎝ の柱穴状掘り込みから頭蓋骨のみが出土した。掘方径から頭蓋骨のみの埋葬と思われる。頭蓋骨は顔面が西を向いた状態で埋められている。撹乱により左側が削平されているが上顎と下顎が噛み合った状態で出土しており、生首の状態で埋葬されている。遺物は土器小片のみで時期は不明である。

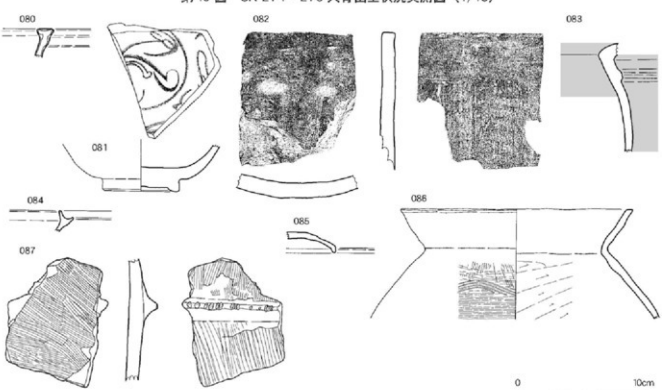
SK 276 (第 19 図)　Ⅰ区西側の河川堆積の粗砂中で検出した。墓壙の掘り込みは確認できなかったが、出土状況から溺死等ではなく、埋葬されたものと思われる。人骨は遺存状態が悪く、頭蓋骨の顔面を除いた部分（顔面は削平により欠損）と左腕の上腕骨（近位端欠損）と橈骨と尺骨（共に近位端のみ）、右腕が橈骨と尺骨（遠位端欠損）のみが遺存していた。出土状況から頭位を北にして、顔を西側に向けていたものと考えられる。人骨が出土した下からは第 20 図の 080～087 が出土した。古墳時代から中世前半までの遺物が含まれており、この後御笠川が博多の東側を流れるようになると、干上がった河原が墓域となったものと思われる。



第 18 図　土坑出土遺物実測図（1/3）



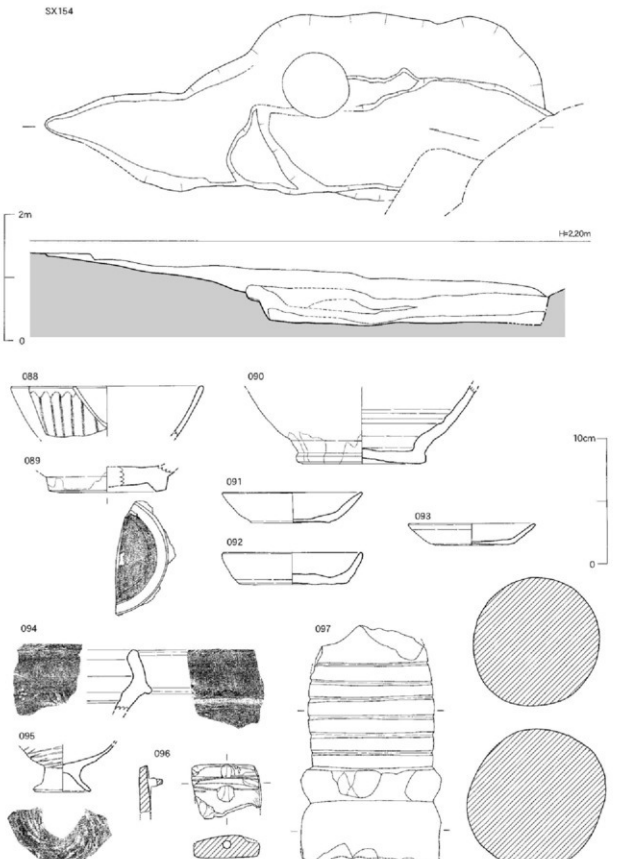
第 19 図　SK 274・276 人骨出土状況実測図（1/10）



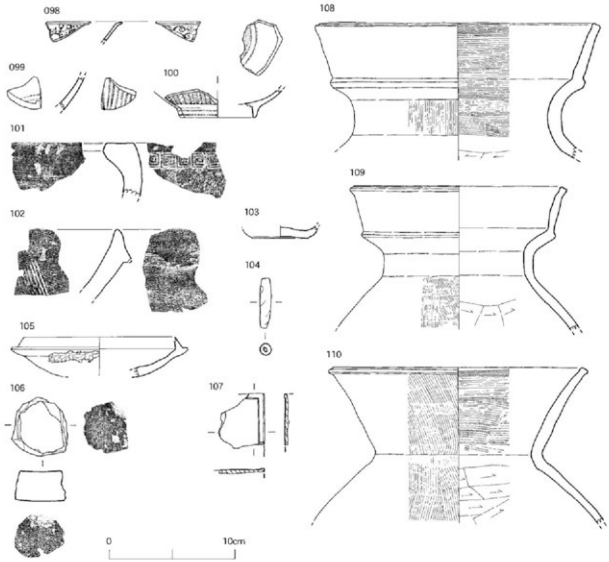
第 20 図　人骨横トレンチ出土遺物実測図（1/3）

6）流路　Ⅱ区南側で砂丘上から南側の旧河川に向かって流れる流路を1条確認した。

SX 154（第 21 図）　Ⅱ区5面南側で検出した北から南に向かって流れる流路である。北側は砂丘が削平されたため遺存していない。覆土中から多量の角礫と遺物が出土した（088 ～ 097）。088 は龍泉窯系青磁碗、089・090 は白磁である。089 は外底部に墨が残る。091 ～ 093 は糸切りである。094



第 21 図　SX154 遺構・遺物実測図（1/60・1/3）



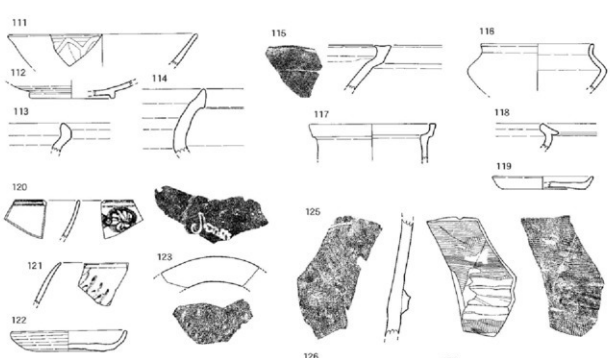
第 22 図　SX 204 出土遺物実測図（1/3）

は備前擂鉢、095 は土師質高坏、096 は滑石製品である。石鍋の再利用品で取手に孔を穿つ。097 は砂岩製の相輪部である。径 10㎝を測る。この他天目碗や瓦質擂鉢など貿易陶磁や国産陶器、瓦器、土師器と共にイヌ頭蓋骨やイルカ等の獣骨も出土した。15 世紀頃か。

7）その他の遺構

SX 204（第6図）旧河川である。前述したように当調査区と西側のキャナルシティの間は河川の流路である。河川堆積の粗砂中には第 20 図の様に中世前半までの遺物が含まれている。これらは河川が上流で削った遺構に含まれていた遺物であるが、河川が西側に狭まった後、砂丘上からの流れ込みや埋立てによって持ち込まれたのが第 22 図の遺物である。こちらにも古墳時代前期の土師器や6世紀頃の須恵器坏なども含まれるが、染付などの中世後半から近世の遺物も含まれる。

房州堀（第8図上）御笠川の旧河道である。現在は博多駅の東側から石堂川と名を変えて博多湾にそそぐ。伝承では戦国期に川の付け替えが行われ、石堂川は博多の東の堀に、旧河川は南の守りとされたという。遺跡分布図では敷地南側の小道が房州堀の北端とされていたが、河口部で八の字に広がっているものと思われる。明治に埋立てられているが、覆土からは近世から近代の陶磁や焼けた石炭状のものが多量に出土した。またその下層に位置する河川堆積の粗砂層からは多量の古墳時代前期の土



第 23 図　水田（畑）出土遺物実測図（1/3）

師器や円筒埴輪片、後期の須恵器、古代の瓦や須恵器、中世の瓦質土器などが多量に出土している（第 24 図 128 ～ 152）。どれもローリングを受けておらず近くからもたらされたと考えられるが、その中に円筒埴輪も含まれるため近くに埴輪を伴うような古墳が存在した可能性が高いと考えられる。

SD 250（第7図）　Ⅱ区5面北側で検出した東西方向の溝で主軸をN－ 77° －Eにとる。幅 40 ～ 50 ㎝、深さ 20 ～ 30㎝を測る。東端部は緩やかなカーブを描きながら南に曲がる。SD 273 とほぼ重なる。

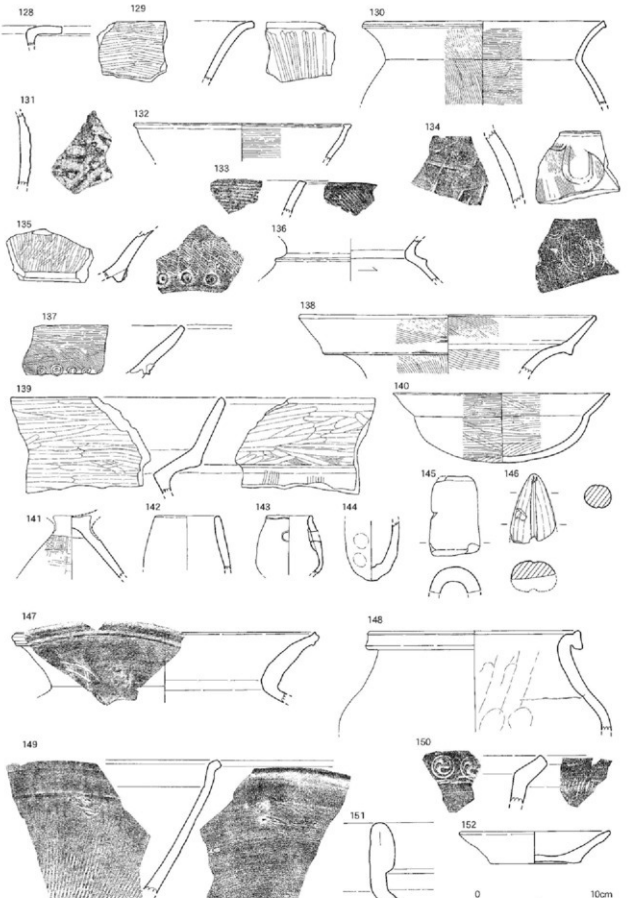
SD 273（第7図）　SD 250 の下層で検出した。調査区内でL字型をなす溝である。幅 80㎝、深さ 15 ～ 20㎝を測る。溝内で木杭列を検出した。壁の崩落防止の為と考えられる。近世前半の『福岡御城下絵図』によると房州堀は水田として描かれており、SD 250・273 は絵図と同様に水田化していたことを示す。

SX 271（第7図）　水田面である。黒褐色を呈す砂質土層で河川堆積のシルト層の直上にのる。黒褐色土の下で、動物の足痕を検出した（図版 10 －3）。

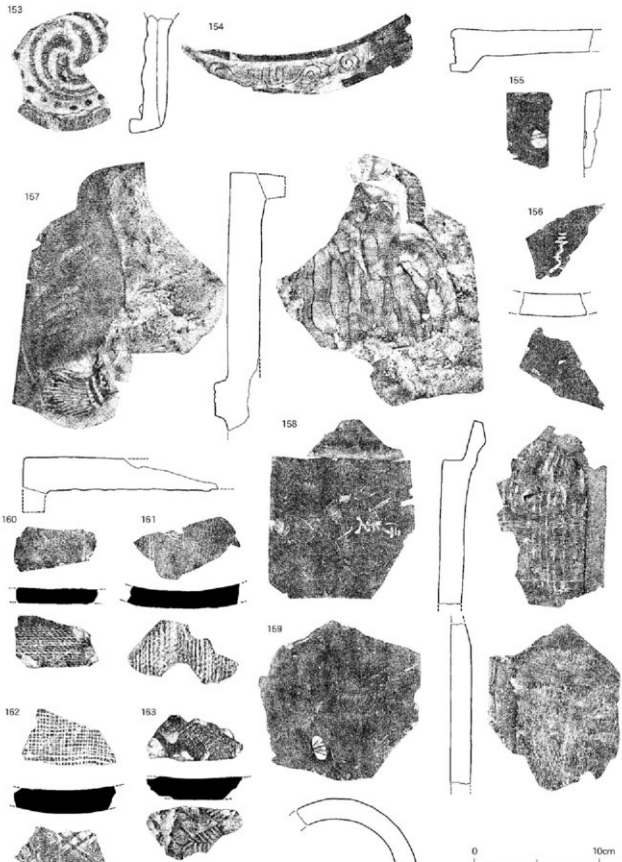
8）それ以外の遺物

(1) 瓦（第 25 図）　調査区全体から多く出土した。153 は巴文の瓦当である。154 は平瓦の瓦当である。細い線で唐草文を施す。155・156 は瓦質平瓦片である。155 は鉾のような、156 は文字のスタンプを施す。共に生産者を現していると考えられる。157 は鬼瓦である。文様の大半は剥落しているが左下に魚の鰭もしくは紐状の文様が残る。158・159 は丸瓦である。外面側にスタンプを施す。160 ～ 163 は須恵質の瓦片である。160・161 は凸面が縄目タタキ、凹面はこまかな布状圧痕である。162 は凸面が格子タタキで、凹面が粗い布状圧痕。163 は凸面が平行タタキ、凹面が粗い布状圧痕である。

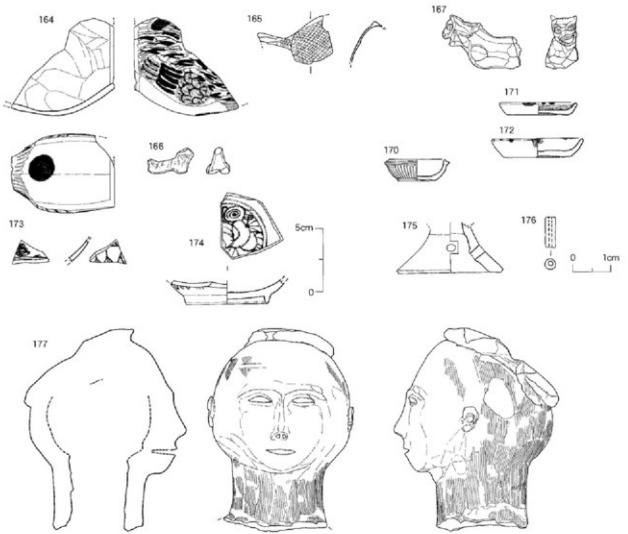
(2) その他（第 26 図）164 ～ 166 は 090 から出土した。164 は鳥型磁器製品である。羽と下側の円は赤褐色で塗られる。尾羽は盛り上がっているものの、尾部は垂直に切られており、蚊取り線香を焚



第 24 図　河川出土遺物実測図（1/3）



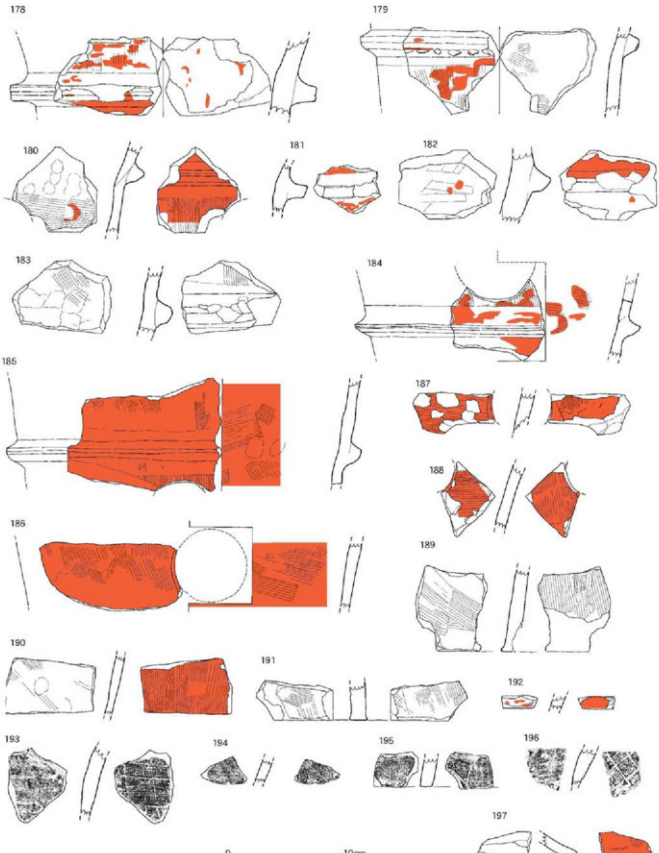
第 25 図　出土瓦実測図（1/3）



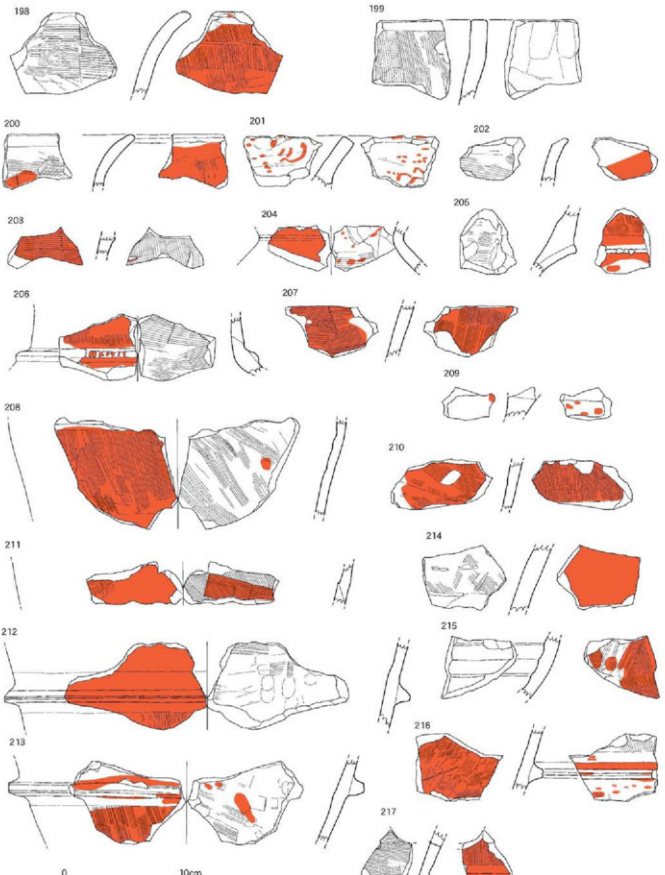
第 26 図　その他の出土遺物（1/3・175 と176 は 1/1）

く豚と同じような印象を受ける。165 は魚型土製品である。166 は土師質である。頭や四肢先端が欠損する。首はやや長く、尻尾は垂直に近いがやや後にむかって立つ。イヌか。167 は2～3面握下げ時に出土した。陶器製で大きく口を開け吠えているような印象を受ける。襟に毛の表現があり獅子か。前足と胴部下半は欠損する。170 はⅡ区4～5面握下げ時に出土した白磁合子、171・172 は糸切りの土師皿で口縁に数カ所の煤が付着しており、灯明皿として使用されている。171 は 014 から 172 はⅠ区の2～3面握下げ時に出土した。173（130 出土）・174（244 出土）は陶磁器である。175 はⅠ区2～3面握下げ時に出土したミニチュアの高坏脚部で底径 2.8㎝、残存高 1.3㎝ を測る。細い棒先で円形の透かしを穿つ。赤橙色を呈し胎土は砂をほとんど含まず、全体的に雲母小片を含む。手捏ねで焼成は良好である。176 はⅠ区北側2～3面握下げ時に出土した碧玉製の管玉である。径3㎜、長さ8㎜を測る。古墳時代である。177 は人物埴輪の頭部である。房州堀の埋土中から出土した。巫女と思われる。顔面部以外は縦方向の粗いハケ目を施す。淡橙褐色を呈し、胎土は精良で砂をほとんど含まない。焼成は良好である。近代の埋立土中から出土したため、由来等は不明である。

(3)円筒埴輪（第 27・28 図 178 ～ 217）　旧御笠川の河川堆積中から多量に出土するとともに、各時期の遺構からも多く出土した。178 ～ 183 は円遺存部である。円は断面コの字型と三角型があり、三角型は上面が凹み、下面が張り出す。突帯部は貼り付け時に横ナデを施す。184 ～ 188 は透かし部分

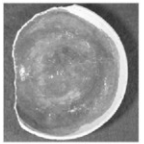


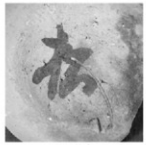
第 27 図　円筒埴輪実測図 1 (1/3)

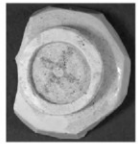


第 28 図　円筒埴輪実測図 2 (1/3)

218


219 内底

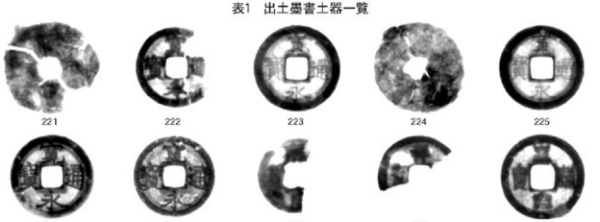

219 外底


220

第 29 図　墨書土器

遺物番号	出土遺構	墨書内容	土器	部分	時期	遺物番号	出土遺構	墨書内容	土器	部分	時期
218	154	「鋼」＋花押	白磁碗類	内底部	中世	219 外底	Ⅰ区２面表	「松」	土師皿	外底部	近世か
219 内底	Ⅰ区２面表	塗りつぶし	土師皿	内面	近世か	220	Ⅱ区４～５面掘下げ	「＋」	白磁八角小碗	外底部	中世後半

表1　出土墨書土器一覧


221　222　223　224　225　226　227　228　229　230

第 30 図　出土銭の透過X線画像

遺物番号	出土遺構	銭　銘	初鋳年	時　代	備　考
221	075	□□□			鉄銭
222	135 上層	寛永通寶	1636 年	江戸	古寛永
223	135 北側２～３面掘下げ	寛永通寶	1668 年	江戸	文銭
224	139	□□□			鉄銭
225	187	寛永通寶	1668 年	江戸	3 枚錆着、新寛永
226	187	寛永通寶	1636 年	江戸	3 枚錆着、古寛永
227	187	寛永通寶	1636 年	江戸	3 枚錆着、古寛永
228	Ⅰ区南４面目から１段下げ	皇宋(通)寶	1039 年	北宋	1/4 欠損
229	Ⅱ区粗砂上層	祥××寶			釘錆着、2/4 欠損
230	Ⅲ区南側粗砂下層	皇宋通寶	1039 年	北宋	

表2　遺構別出土銭一覧表

第 31 図　金属製品実測図（1/2・1/1）

である。いずれも円形を呈す。189～192は円筒埴輪下端と思われる。上部より器壁が薄くなるため、別の部分の可能性もある。193～196は線刻がある埴輪片である。格子状の線刻で屋根部分によく見られる模様のため家型埴輪の可能性がある。197は高杯脚端部か。赤色顔料を塗布している。198～203は埴輪口縁部である。198の様に大きく外側に開くものと199のように直立に近い物がある。口縁が開く物には内面までハケを施すが、199は内面は指オサエで刷毛は施さない。204は朝顔型埴輪の肩部、205は二重口縁部である。206も朝顔型埴輪の肩部か。207～217は赤色顔料が良好に遺存する破片である。内面まで塗布する破片と、外面のみの破片がある。

(4)墨書土器（第29図、表1） 墨書土器が3点出土した。218は「劉」＋花押と思われる。219は内面を墨で塗りつぶす。外底部は「松」である。硯として使用しており、「松」は持ち主の名か。220は外底部に「十」の記号がある。

(5)銅製品 銅銭が10枚出土した（第30図221～230）。他の調査区と異なり、北宋銭ではなく、日本近世の寛永通宝が主である。237は銅製の耳掻きである。柄は現状で長さ16㎜、柄の径3㎜、凹部幅4.5㎜を測る。

(6)鉄製品（第32図231～237） 231は紡錘車である。径36㎜、厚さ約3㎜を測る。232は小札である。上端がかけるが、現状で長さ37㎜、幅20㎜。厚さ2㎜を測る。径2㎜の孔が2列に5つずつ並ぶ。233、234は鉄鏃である。233は完形に近く長さ7㎝、幅1.9㎝を測る。234は柄と先端を欠く。235、236は刀子である。鉄製品は他に釘等が出土した。

(7)石製品 滑石製の石鍋片やその再加工品が出土している。

(8)土製品 土錘が多く出土した。土錘は筒型と両端が細い型がある。古墳時代以降は蛸壺片も多く出土しており、漁村的な性格が強いものと思われる。

(9)木製品 旧河川から木小片が多く出土したが加工品はほとんど見られない。漆碗はSK217から横倒しの状態で出土した。遺構検出時に一部削平した。木質はほとんど残っておらず、漆膜だけの遺存である。小型の椀で径は土圧で変形し不明。表面に赤橙色の文様がわずかに残る。

3. 小結

南側に房州堰、西側に那珂川があり、文字通り博多遺跡群の南西端に当たる。古墳時代は砂丘が西に延びていたがその後旧御笠川等に削られ東側に後退している。遺構は古い時期では古墳時代前期の竪穴式住居が1軒出土した。蛸壺がまとまって出土しており、古墳時代には漁村的な性格であったと考えられる。その後古代、中世と集落は続くが、房州堰は中世後半には慕城に、近世には水田となっており、水田を囲む溝と土留めの木杭列が出土している。旧河川の堆積には古墳時代から中世の遺物が混在した状態で多量に出土したが、その中に多くの円筒埴輪が含まれている。それらはほとんど河川によるローリングを受けていないため、あまり流されているとは思われない。現在埴輪を伴う古墳としては地下鉄祇園駅の東側に博多1号墳の存在が判明しているが、砂丘西側にも埴輪を持つ前方後円墳があった可能性が高いものと思われる。周溝は残っている可能性が高いため今後の調査に期待したい。

遺構一覧表

遺構番号	場所	性格	時代	形状	大きさ	深さ	遺物	備考
001	I区1面	撹乱	近代				染付小碗（数個体）、青磁、白磁、陶器（鉢、甕）、陶器蓋2点（1点に墨書）、須恵器甕（10点全て別個体か）、土師質耳鉢（数個体分）、土師坏・皿（糸）、土師甕、七輪、滑石、土製人形	
002	I区1面	試掘トレンチ	現代		233	61	白磁碗Ⅳ類（発泡）、白磁皿、陶器、須恵器甕（格子・同心円文）、須恵器坏蓋（8C）、瓦器椀、土師器坏（ヘラ切り、糸切り→ヘラ切り多）、土師甕（古墳時代前期）	
003	I区1面	撹乱					染付、白磁、龍泉窯系青磁、瓶器壺、陶器壺、須恵器甕（7点→別個体）、須恵器壺、須恵器坏、瓦（須恵質、瓦質）、瓦質（火鉢か）、土師甕、鉄滓、L型口縁甕（弥生時代中期）、古墳時代土師器（鉢、壺、甕）	
004	I区1面	撹乱		楕円形	395	26		
005	I区1面	撹乱		隅丸方形	206	31		
006	I区1面	撹乱					染付、龍泉窯系青磁、同安窯系青磁、白磁合子、白磁碗Ⅳ類、陶器鉢、陶器碗、陶器、須恵器甕、須恵器高台付坏、瓦器椀、瓦質鉢、瓦質甕（火鉢？）、土師椀、土師坏（糸切り、ヘラ切り）、瓦（須恵質、瓦質）、古墳時代土師器（高坏脚部、器台、甕、壺）	
007	I区1面	土坑？	近世	隅丸方形	118	29	染付、白磁碗Ⅳ類、白磁、唐津焼（三島手）、陶器片（甕・擂鉢）、七輪、須恵器甕（5点別個体）、須恵器坏蓋（8C後半）、土師椀、土師甕、土師壺、土師坏（糸切り・ヘラ切り）、瓦（瓦質）	
008	I区1面	土坑？	近世～近代		52	19	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白磁碗Ⅳ類、白磁片（11～13C）、陶器碗（近世～近代）、染付（近代）、須恵器大甕（4点　全て別個体）、須恵器高台付坏（古代）、須恵器坏蓋、須恵器甕、瓦器椀、瓦器鉢、土師質耳鉢、土師椀、土師器甕、土師坏（糸切り、ヘラ切り）、土師皿（糸切り）、瓦（須恵質→古代、瓦質→中世以降、鉄片、貝、古墳時代前期（高坏、円筒埴輪、壺）	
008西側包含層	I区1面		古代末				陶器小鉢、須恵器甕（3点→別個体）、須恵器坏、土師坏（ヘラ切り）、土師甕、土器、瓦（瓦質丸瓦・平瓦）	
009	I区1面	柱穴状遺構	不明	楕円形	56	23	土師椀、土師坏・皿（糸切り）、土師甕	
010	I区1面	柱穴状遺構	不明	円形	17	35	土器片（小片9点）	
011	I区1面	柱穴状遺構	中世	円形	26	31	白磁、土師椀、土師皿（糸切りか）	
012	I区1面	柱穴状遺構	中世	楕円形	57	33	陶器、瓦器椀、土師椀（2個体）	
013	I区1面	柱穴状遺構		円形	42	13	須恵器（極小片）、土師皿（糸切り）、土器	
014	I区1面	柱穴状遺構	不明	円形	29	17	須恵器（蓋？）、土師皿（灯明皿）、土器片	
015	I区1面	土坑	12～13世紀	隅丸方形	165	51	染付、龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白磁碗Ⅳ・Ⅴ類、白磁水注、白磁、陶器壺、陶器鉢Ⅰ-1b、須恵器坏蓋（6～7C）、瓦質擂鉢（12C前）、土師甕、土師坏（糸切り、ヘラ切り）、土師皿（糸切り）、石玉、砥石	
016	I区1面	土坑	12～13世紀	小判形	72	23	白磁、陶器、須恵器甕、須恵器坏蓋、土師坏・皿（糸切り）、土師椀、土師甕、瓦（瓦質）	
017	I区1面	不明	13Cか	隅丸方形	116	14	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白磁碗、白磁注柱（取手部分）、陶器鉢Ⅰ-1b（13C前）、陶器、須恵器大甕、土師坏・皿（糸切り）、黒色土器B類、土器、鉄片（2点）	
018	I区1面	土坑	中世	円形	132	20	白磁小碗、陶器（被熱）、須恵器大甕（2点、別個体）、須恵器（不明）、瓦器椀、土師坏・皿（糸切り）、土師器甕（時期不明）、土師甕（古墳時代）、瓦（瓦質）	
019	I区1面	柱穴状遺構	不明	円形	72	19	白磁片（1点のみ）、陶器片1点、土師坏（不明）	
020	I区1面	土坑？	中近世	円形	85	11	青磁、白磁、陶器、染付、七輪、須恵器大甕、須恵器甕、高坏（弥生後期か）、甕（弥生末～古墳時代　破片多数）、土師坏（糸切り）、土師皿（ヘラ切り）、瓦（瓦質）、鉄釘、貝	
021	I区1面	土坑	中世	隅丸方形	90	43	陶器、須恵器、瓦質擂鉢、土師坏（糸切り　1点のみ）、土師甕（古墳か）、瓦（瓦質、土師質）	
022	I区1面	撹乱	古墳時代か	円形	43		土師器片（小片3点のみ）	
023	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代か	隅丸方形	46	28	土師器小片3点のみ（古墳時代か）	
024	I区1面	柱穴状遺構	中世？	円形	35	59	土師質（鉢か）、土師坏（糸切り）、土器（中世、古墳時代）	
025	I区1面	柱穴状遺構	不明	隅丸方形	42	38	土器（破片14点）	
026	I区1面	柱穴状遺構	11C後～12C	小判形	40	2	白磁碗Ⅳ類、白磁、土師坏（ヘラ切り）、瓦（古代）	
027	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代	楕円形	35	5	土師甕（古墳時代）	
028	I区1面	柱穴状遺構	不明	円形	44	22	土器（小片17点）	
029	I区1面	柱穴状遺構		隅丸方形	34	40		
030	I区1面	柱穴状遺構	不明	隅丸方形	34	8	陶磁小壺、不明土製品（時期不明）	
031	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代	楕円形	39	7	土師片1点のみ（古墳時代）	
032	I区1面	柱穴状遺構	不明	円形	32	15	瓦（瓦質平瓦）　1点のみ	
033	I区1面	柱穴状遺構	不明	楕円形	45	35	土器片	
034	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代か	隅丸方形	47	30	土器片（古墳時代？）、極小片	
035	I区1面	土坑	中世	楕円形	104	28	青磁、白磁碗Ⅱ類、陶器擂鉢、陶器、土師皿（糸切り）、土師器甕（古墳か）、黒色土器A類椀、壺（弥生末～古墳時代前期）、弥生土器（赤色顔料付　2点）、似非須恵土師器坏蓋（7～8C）、須恵器	弥生～古墳時代の遺物が圧倒的に多い
036	I区1面	溝状遺構	中世後半～近世		39	34	青磁碗（2個体）、白磁碗（11～12C・中世後半）、染付碗、陶磁大甕、陶磁甕、須恵器甕、黒曜石、瓦（瓦質平瓦）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師器（古墳時代多い）	
037	I区1面	柱穴状遺構	不明	楕円形	40	26	土師器　1点のみ	
038	I区1面	柱穴状遺構		楕円形	43	14	土器片　2点のみ（古墳時代か）	
039	I区1面	柱穴状遺構	13C以降	隅丸方形	57	20	龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、土師器甕（古墳時代か）4～5点、土器	
040	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代前期	円形	31	3	土師器甕（古墳時代　4～5個以上）、壺？（弥生～古墳時代）、器台（弥生終末～古墳時代前期）、高坏（古墳時代前期？）、不明土器	
041	I区1面	土坑	近世	円形	142	122	白磁碗、龍泉窯系青磁片、染付碗（近世か）、染付鉢？（近世～）、陶器小鉢？、陶器碗、陶器鉢？陶器大甕、須恵器大甕（数種あり）、須恵器坏蓋（7～8C）、土師火鉢、土師椀、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、黒色土器A・B類、土師高坏脚部（古墳時代前期）、土師器多数（古墳時代）、土器片多い（不明）、弥生L型口縁甕、瓦（瓦質）、釘	
042	I区1面	柱穴状遺構	中世	隅丸方形	67	44	白磁碗底部（11～12C）、白磁碗口縁（中世後半か）、陶器鉢？口縁、陶器片3点、土師椀、瓦器椀、瓦器片、甕片（弥生～古墳時代）、土器片	
043	I区1面	柱穴状遺構	不明	楕円形	43	4	蛸壺片　1点のみ	
044	I区1面	土坑？	古墳時代前期		155	51	土師器甕小片20点前後（古墳時代前期か）、蛸壺片	
045	I区1面	土坑？	不明		85	19	須恵器片1点のみ、瓦質片（瓦か）、土師皿（糸切り）、土器片	
046	I区1面	柱穴状遺構	不明	円形	31	8	白磁片1点のみ、土師器皿（糸切り）2点のみ	
047	I区1面	溝状遺構	中世後半～近世		45	10	染付、陶器、須恵器坏（古代）、須恵器高台付坏（8C）、須恵器坏蓋（8C）、壺（弥生末？）、瓦（瓦質）、土師椀、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師甕（古墳）小片多数	
048	I区1面	柱穴状遺構	古代～中世	円形	23	16	須恵器（不明）、黒色土器碗B類、土師坏	
049	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代	楕円形	45	66	土師器（古墳時代）	
050	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代？				甕片（古墳時代？）、土器片（弥生～古墳時代）	
051	I区1面	不明	古墳時代前期	台形	55	3	土師甕片　2点のみ（古墳時代）	
052	I区1面	撹乱	現代	楕円形		38	須恵器甕1点、土師器壺肩部（古墳時代）、土師器甕片（2～3種）、土師器鉢（2個体）、器種不明口縁	
053	I区1面	柱穴状遺構	不明	円形	42	16	須恵器片1点（甕か）、瓦器片1点（瓦？）、土器片2点	
054	I区1面	土坑？	近世	円形	84	13	陶器（鉢か）近世、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師高坏脚部（古墳時代前期）、土師器（古墳時代か）、土器片数点	
055	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代か	円形	27	21	甕口縁（古墳時代？）、土師甕（古墳時代？）、土師器（不明）、土器片	
056	I区1面	柱穴状遺構	古墳時代か	隅丸方形	43	8	土師器（甕？　古墳時代）、土器片	
057	I区1面	柱穴状遺構	近世～近代	不整円形	85	77	青磁、土師坏（不明）、土器2点、染付小碗（近世）、陶器（近世？）、白磁小片、須恵器坏蓋片（8C）、七輪、土師椀、土師壺？片（弥生～古墳時代）、土器小片	
058	I区1面	柱穴状遺構	不明	小判形	49	11	陶器、青磁、土師坏（不明）、土器片2点	
059	I区1面	柱穴状遺構	中世後半か（15～16C？）	隅丸方形	55	44	染付（小碗、小皿）中世後半か、白磁碗小片（11～12C）、陶器碗、瓦　1点（瓦質平瓦）、土師椀、土師坏・皿（糸切り）、土器片（多）	全体的に細片多い

遺構番号	場所	性格	時代	形状	大きさ	深さ	遺物	備考
060	Ⅰ区1面	土坑？				32	白磁（碗か）、白磁Ⅸ類（皿）、陶器甕、陶器碗？、須恵器（甕・坏？・片口鉢？）、土師坏（糸切り）、瓦器椀、土師器甕（不明）、土師器（古墳時代？ 数点）	
061	Ⅰ区1面	土坑？	13～14C？以降	楕円形	72	28	陶器碗（不明）、白磁Ⅸ類、須恵器小片、土師坏（糸切り）、土師器（古墳時代？）、土器片	小片多い
062	Ⅰ区1面	土坑？		楕円形	110	36	白磁、白磁皿（12C）、白磁水注、白磁壺、青磁（碗か）、陶器、須恵器甕、土師椀、土師坏（糸切り）、土師甕、瓦器椀、土師甕（古墳時代？）	
063	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	中世？		89	19	土師坏（糸切り）、土器、瓦器	何れも細片
064	Ⅰ区1面	柱穴状遺構		隅丸方形	45	7	白磁、青磁、須恵器大甕か）、土師椀、土器片（多）	細片多い
065	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	不明	円形	40		土師器甕？口縁（不明）、土師器片2点	
066	Ⅰ区1面	土坑？	近世	円形	121	8	白磁、染付、銅壺、唐津小碗（近世）、須恵器、土師坏・皿（不明）土器片	
067	Ⅰ区1面	柱穴状遺構			28	7	陶器小片2点、須恵器坏蓋？、須恵器高台付坏、瓦器椀、[illegible]土師坏（8C後）、土師甕（古墳時代？）、土器、瓦（瓦質）	
068	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	近世～近代	楕円形	36	11	染付小碗（近世～近代）、土師器2点（古墳？）	小片のみ
069	Ⅰ区1面	土坑	古墳前期	楕円形	140	48	二重口縁壺、土師甕（古墳）、小形丸底壺？（古墳時代）	
070	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	不明	円形	36	8	土師器甕、土師高坏（古墳時代）、土師器片	
071	Ⅰ区1面	撹乱	現代	不整円形	406	49	陶磁器（現代）、須恵器甕（古墳時代？）、土器片	
072	Ⅰ区1面	撹乱	古墳時代？	円形	94	6	土師甕 1点のみ（古墳時代）	
073	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	古墳時代？	円形	33	27	土師器片 2点のみ（古墳時代）	
074	Ⅱ区2面	トレンチ			79	16	瓦片（瓦質）、白磁片2点（別個体）、陶器、土師坏（糸切り）、瓦器、土師器片（古墳時代？）	
075	Ⅰ区1面		近世				龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、龍泉窯系青磁皿Ⅰ類、白磁碗Ⅳ類・Ⅴ類、陶器鉢Ⅰ-1b、陶器大甕（中世？）、染付皿→多種・碗（近世）、陶器茶碗（近世）、陶磁器片（多）、砥石、滑石、軽石、須恵器大甕、須恵器甕片（2～3種）、石玉 2個、瓦（瓦質→丸瓦1点・平瓦）、土師皿（糸切り）、土師坏（糸切り）、土師甕（中世か）、瓦器、土師器（古墳時代）、火鉢、須恵器坏蓋（6C）、土師椀（古代末）、土玉	土器片多い 小片が多く器種不明なものが多い
076	Ⅰ区1面	柱穴状遺構		円形		35	土師皿 1枚（祭祀か）	
076	Ⅰ区1面	柱穴状遺構					土師皿 1枚のみ（完形に近い 糸切り）	
077	Ⅰ区1面	溝状遺構	12～13Cか		51	159	土師坏（ヘラ切り）、土師皿（糸切り）、土器片、土師器壺口縁（古墳時代）、土師器片（古墳時代）	
078	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	不明			18	白磁小片、土器小片（1cm前後が12点）、土師甕片（古墳時代？）、土師器	
079	Ⅰ区1面	溝状遺構	中世～近世		50	26	陶器（壺？）、土師皿（糸切り）、土器、瓦？、須恵器、白磁（不明）	
080	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	不明	円形	29	1	土師坏（糸切り）、白磁、陶磁、土器	極小片のみ
081	Ⅰ区1面	柱穴状遺構		円形	41	17		
082	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	不明	楕円形	60	19	土器片5点のみ	極小片のみ
083	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	12～13Cか	隅丸方形	48	15	白磁（11～12C）、土師坏（糸切り）、土師甕、土器	極小片のみ
084	Ⅰ区1面	土坑？	不明			11	青磁、白磁、土師椀、瓦器椀、土師坏（糸切り、ヘラ切り？）、土器	極小片のみ
085	Ⅰ区1面	土坑？	中世前半？			27	白磁、陶器、須恵器、土師甕（古墳時代？）、土師皿（糸切り）、土器、瓦（土師質、調整不明）、瓦（瓦質）	
086	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	不明	円形		6	土師皿 2点のみ	
087	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	不明	円形	32	27	白磁、土師皿（糸切り）、土師甕（古墳時代？）、土器	極小片のみ
088	Ⅰ区1面	土坑？		隅丸方形	85	27	白磁（小碗か）、須恵器、土師皿（不明）、土師甕（古墳時代？）	
089	Ⅰ区1面	撹乱	中世後半～近世	円形	91	32	青磁碗、同安窯系青磁皿、染付碗、白磁碗Ⅴ類、白磁小碗（中世後半～近世か）、白磁、陶器壺（坩堝として使用）、須恵器甕、須恵器大甕、須恵質高坏脚部、瓦（瓦質 丸瓦・平瓦）、黒色土器A類椀、土師質火鉢、土師皿（糸切り）→数個体あり、土師甕（古墳～古代）、土器（多）	
090	Ⅱ区1面	柱穴状遺構		楕円形	57	5	近世陶磁（碗、皿、小鉢、土瓶、口禿げで赤絵、蓋）、高麗象嵌青磁、白磁碗Ⅳ類、龍泉窯系青磁皿Ⅰ類、青磁湊井C群（16C）、陶器盤Ⅰ-1b（11C後半）、瓦（瓦質→平瓦 瓦当あり・土師→平瓦）、火鉢（瓦質）、滑石、砥石、羽口、籠取手、高坏脚部（古墳時代）、須恵器甕、須恵器高台付坏（8～9C）、須恵器坏蓋（6～7C）、土師椀、瓦器椀、土師甕（古墳時代）、土師坏、土師皿（多） 実測可10枚以上 径7.3cm前後（糸切り）	
091	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	近現代	円形	39	7	陶器甕（近現代）、ガラス瓶（近現代）、炉壁、磁器碗（不明）、陶器坏（糸切り）、土器片	
092	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	近現代	円形	55	26	瓦（軒平瓦）、七輪（近現代）、須恵器片（大甕）、陶器片、陶器蓋、土師器甕片（古墳時代）4種以上、土器	
093	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	中世末～近世？	円形	142	29	染付（杯）、染付、同安窯系碗、須恵器（坏蓋か 6～7C）、瓦？、土師坏（糸切り）、土師器椀、土師甕小片（多 古墳時代前期）、壺？肩部片（古墳時代前期）	弥生～古墳時代 遺物多い
094	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	中世後半～近世 弥生～古墳	円形		158	瓦（瓦質 ナデ）、釘、須恵質甕、青磁碗、白磁（碗Ⅴ類か）、染付碗、陶器甕、白磁片（小碗か 中世後半～近世か）、土師坏（糸切り）、弥生～古墳［大型[illegible]（甕棺か？）、高坏、小型甕、壺？］	
095	Ⅱ区1面	土坑？		不整楕円形	88	59		
096	Ⅱ区1面	撹乱	近世				陶器大甕、陶器擂鉢、鉄滓、瓦（瓦質）、織部？（近世）、龍泉窯系青磁（13～14C）、白磁（11～12C）、染付、陶器、土師器（古墳前期）、小型丸底壺、甕、土師皿（糸切り 小型 近世か）	
097	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	12C前後	円形	65	7	土師坏（ヘラ切り）、椀、坏（灯明皿）、甕（古墳時代）、壺（古墳時代？）	
098	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	中世後半～近世	円形	54	20	白磁、染付、須恵器、滑石製品、瓦（瓦質）、土師坏（糸切り）、土師器甕（古墳時代）	古墳時代と思われる破片多い
099	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	不明	楕円形	44	35	陶器（大甕か）、須恵器、土師坏（糸切り）	
100	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	古代末？	円形	42	17	土師皿（ヘラ切り？）、坏（不明）	
101	Ⅰ区2面	柱穴状遺構		楕円形	59	21		
101	Ⅰ区3面	包含層？	中世				白磁、土師皿（糸切り）3点、土師甕（古墳時代）、土器	一段下げで消滅
102	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	11～12C	円形	55	30	染付、白磁碗Ⅳ類、須恵器高台付坏（8C）、瓦（瓦質）1点のみ、土師皿（糸・ヘラ切り）・坏（不明）、須恵質擂鉢、瓦質椀、土師甕片（古墳時代）6点以上	
103	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	中世後半	円形	30	26	白磁（13C～）、土師皿（糸切り）、土師甕（古墳時代）、土器片	
104	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	12～13C	円形	50	20	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、土師皿（糸切り）、土師甕（古墳時代）	
105	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	11～12C	円形	45	8	白磁碗Ⅳ類1点、土器片	
106	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	不明	楕円形	54	20	須恵器椀1点、土器片7点	
107	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	12～13C？	楕円形	49	52	白磁、土師椀、土師皿（糸切り）5点、土師器甕（古墳時代？）、壺突帯	
108	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	中世	楕円形	31	37	土師皿（糸切り）1点のみ、土器片2点	
109	Ⅰ区2面	土坑	13～14C？	楕円形	51	49	白磁碗Ⅴ類、白磁輪花碗、陶器、土師皿（糸切り）、坏（糸切り）、瓦器、土師甕片（古墳時代）	小片のみ
110	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	中世？	円形	57	13	須恵器坏（3点→別個体）、瓦（土師質・瓦質）、土師皿（糸切り）、土師甕（古墳時代か）	
111	Ⅰ区2面	柱穴状遺構		楕円形	42	10		
112	Ⅰ区2面	土坑？	13C	楕円形	89	16	天目、瓦（土師質 ・瓦質←縄手）、土師皿（糸切り）、土師甕	
113	Ⅰ区2面	土坑？	不明	楕円形	84	17	陶器甕 2個、陶器瓶？、須恵器（瓦）、土師皿（糸切り）、瓦質、土器甕（不明）、 古墳時代（甕片12点 壺？1点）	
114	Ⅰ区2面	土坑？	不明	円形	64	13	陶器、須恵器（甕 3点）、土器、土師甕（古墳時代）、蛸壺	小片のみ
115	Ⅰ区2面	土坑？	近世	不整楕円形	132	38	染付湯呑み（近世）、白磁、白磁水注、須恵器高台付坏、瓦（瓦質、土師質）、砥石、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、瓦質鉢	
116	Ⅰ区2面	柱穴状遺構		円形	38	6		
117	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	近世？	円形	36	103	陶磁器碗、瓦（土師質 ナデ・ナデ）、人形？、土器	

遺構番号	場所	性格	時代	形状	大きさ	深さ	遺物	備考
118	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	不明	円形	39	32	土師甕（古墳時代）2点、土器3点	小片のみ
119	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	11～12Cか	小判形	40	24	白磁碗、須恵器（甕？高台部）、土師皿（ヘラ切り、糸切り）、土師甕（不明）、鉄片	
120	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	12～13Cか	円形	57	22	須恵器1点、土師皿（ヘラ切り1・糸切り4）、土器、土師椀	
121	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	不明	円形	37	22	土師皿（糸切り）1点、土師甕（古墳時代）、円筒埴輪？	
122	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	11～13C	隅丸方形	135	39	白磁、青磁　4点、陶器甕、須恵器甕（平行　同心円）、須恵器高台付坏、銅線、土師皿（糸切り）、土師甕（多　古墳時代か）、高坏	
123	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	12～13C	円形	60	16	青磁1点、白磁1点、瓦（瓦質）、土師皿（糸切り）、土師坏（ヘラ切り）、土師甕（古墳時代？）	
124	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	13～14Cか	楕円形	46	21	龍泉窯系青磁（13～14Cか）、土器片2点	
125	Ⅱ区1面	撹乱	近現代	不整円形	113	3	青磁碗　龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白磁碗Ⅳ類、陶器、須恵器甕（8点→別個体）、須恵器坏蓋（7C末～8C初）、坩堝（陶器壺か）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師器鍋、土師器甕（不明）、瓦器片、銅銭片（多）、土錘1点、［古墳時代］甕片（多）、高坏脚2点、輪輪2点　棒瓦、コンクリート	
126	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	古墳時代	円形	49	13	土師甕	
127	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	古墳時代か	楕円形	32	22	土師甕、蛸壺1点、土器	
128	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	近現代？	隅丸方形	41	26	棒瓦、瓦器、白磁、須恵器坏蓋（7～8C）、土師皿（糸切り）、土師甕（古墳時代）	
129	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	不明	円形	33	12	瓦片（瓦質1点）、須恵器甕1点、土師甕10点ほど→別個体（古墳時代）	
130	Ⅰ区2面	柱穴状遺構		円形	32	13	染付皿（ベトナム？）、土師甕片4点（古墳時代）、土器片2点	
131	Ⅰ区2面	柱穴状遺構		円形	43	4		
132	Ⅰ区1面	柱穴状遺構	中世？	不整楕円形	70	16	白磁片、須恵器甕（平行　不明）、須恵器坏蓋？、瓦（瓦質・土師質）、土師坏、土師器甕、鉄滓、円筒埴輪	
132	Ⅱ区1面			隅丸方形	81	11		
133	Ⅰ区2面	土坑	古墳時代？			44	土師甕（古墳時代）	
133砂丘上茶褐色包含層	Ⅰ区2面		古墳時代前期				甕口縁、甕片（多）、蛸壺、小型丸底壺（ミガキ）	
134	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	不明	円形	52	2	須恵器片、土器片（古墳時代が多）	
135上層	Ⅰ区2面	井戸		隅丸方形	615	137	染付（碗・皿・壺など多種）、青磁碗（不明）、龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、白磁碗Ⅳ・Ⅴ類、白磁皿・壺（近世）、陶器（甕・鉢・壺）多量、須恵器（甕・捏ね鉢、12C）、須恵器高台付坏、土師坏（糸切り　多・ヘラ切り　少）、土師皿（糸切り　多）、土師椀、瓦質捏鉢、瓦質擂鉢、土師器鉢、土師器甕（不明）、瓦質大甕（鉢？）、土師質擂鉢、黒色土器椀B類、瓦器椀、羽釜、人形、土鈴、砥石　［古墳時代土師器］甕（多）、高坏脚部、二重口縁壺、円筒埴輪	
135下層	Ⅰ区2面	井戸					瓦（瓦質）	瓦だけでパンケース4～5箱出土
136	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	不明	隅丸方形	42	7	土器片2点	
137	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	古墳時代	円形	38		土器片2点（古墳時代か）	
138	Ⅰ区2面	不明	不明	隅丸方形	82	2	白磁合子、須恵器片1点、土師皿（糸切り）2点、土器片、	1段下げで消滅小片のみ
139	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	不明	円形	71	19	白磁3点、陶磁壺1点、土師質捏ね鉢、土器片	小片のみ
140	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	不明	楕円形	36	20	瓦（近現代？）、須恵器坏	
141	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	古代末～中世	円形	33	11	白磁、土師器椀、土器片	
142	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	古代（11～12C）	楕円形	67	5	土師皿（ヘラ切り3点）、土器片6点、	
143	Ⅰ区2面	土坑？	近世	楕円形	53	13		
144	Ⅰ区4面	井戸？	近世？	不整円形	180	136	染付小碗（近代？）複数、陶器碗、白磁、陶器（甕・壺）、陶器皿、須恵器甕　5点（別個体）、須恵器坏蓋（8C）、瓦（瓦質　丸・平瓦）、七輪、土師坏（糸切り　多）、土師皿（糸切り）、土師器甕（多）、土師甕（古墳時代）、高坏（古墳時代）、円筒埴輪	
145	Ⅰ区3面	柱穴状遺構		楕円形		48	白磁、青磁、陶器（甕か）、須恵器甕、須恵器高台部（壺か）、瓦（瓦質　軒平片）、土師甕（古墳時代）、瓦器	
146	Ⅰ区2面	土壙	近世～近代	円形	105	25	染付小碗、染付、白磁皿、須恵器甕、須恵器坏蓋、陶器甕底部、瓦（瓦質　平と桟瓦）、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、土師甕（不明）、瓦質、七輪、蛸壺、円筒埴輪？	
147	Ⅰ区2面	井戸？	近世末～近代	円形	134	27	染付（6点）近世、陶器鉢、火鉢か、土器片、焼瓦、白磁片（7点）、陶器甕片（近世か）、陶器壺？、七輪（近代）、須恵器大型甕、須恵器甕（平行・ナデ）、瓦（瓦質　平瓦）、土師皿（糸切り　少）、土師椀、土師器甕片（不明）、瓦器椀、円筒埴輪？	
148	Ⅰ区2面	溝状遺構			50	57	染付小碗（不明）、陶器1点、平瓦（瓦質）、瓦質片口擂鉢（13～14C）土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師甕（古墳時代か）	
149	Ⅰ区2面	柱穴状遺構	中世前半	楕円形		27	白磁皿Ⅳ類？（12C中～後半）、瓦器椀、黒色土器椀B類、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師甕（不明）、土器片	
150	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	中世後半～近世			5	青磁小碗（龍泉窯系？・同安窯系皿）白磁碗Ⅳ類、白磁輪花小碗、陶器甕、須恵器坏？、瓦（瓦質　丸瓦）1点、土師皿（糸切り）、土師器甕（不明）、小型丸底壺	
151	Ⅰ区2面	竪穴式住居	古墳前期				蛸壺	
152	Ⅱ区2面	撹乱						
153	Ⅱ区2面	土器溜		隅丸方形	53	27	白磁碗Ⅴ類、白磁、染付皿・碗、染付（近世～近代）、陶器碗、黒釉陶器小碗、陶器大甕、陶器、須恵器甕片数種、瓦（瓦質、土師質、須恵質　縄目・布）、土師皿（糸切り）・坏（糸切り）、土師器甕、瓦器［古墳時代］高坏脚3点、甕11点、小型丸底壺片1点、円筒埴輪	
154	Ⅱ区5面	河川？	14～15C			111	龍泉窯系青磁碗Ⅰ-4b・Ⅱ類、連弁C群（13C）、同安窯系青磁碗・皿、高麗？青磁碗、青磁輪花小碗？、白磁碗Ⅳ類・Ⅴ類・Ⅷ類・Ⅱ類、白磁八角小碗？（15C）、白磁皿、天目碗、備前擂鉢、陶器甕底部、陶器壺底部1点、陶器大甕胴部（多）、陶器擂鉢（15C後半）、陶器耳壺、陶器壺、須恵器甕（多）、須恵器高台付坏（8C）、須恵器坏蓋（6～8C）、須恵器長頸？壺胴部（7C）、瓦（土師質・瓦質・須恵質）　［古墳時代遺物］土師器甕片（多）口縁多い、壺突帯（多）、高坏脚、小型器台、円筒埴輪、鉢、小型丸底壺、二重口縁壺、甑　［中世］土師坏（糸切り）（多）、土師皿（糸切り）、土師甕（多）、瓦器、瓦質火鉢、瓦質擂鉢、土師椀、土師器高台付皿、蛸壺	
155	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	8C？	楕円形	46	28	須恵器高台坏、須恵器、土師甕（古墳時代）4点、土器片	
156	Ⅱ区1面	柱穴状遺構	不明	円形	40	16		
157	Ⅱ区2面	土坑	13C	円形	180	72	龍泉窯系青磁　1点、白磁碗　1点、陶器　1点、土師皿（糸切り）、土師坏（糸切り）、土師質擂鉢（13～14C）、土師甕口縁・胴部（古墳時代　多）、土器片	小片のみ
158	Ⅰ区1面	井戸（木枠）		円形	108	143	青磁片3点、白磁片7点、染付碗2点、褐釉陶器2点、陶器甕、須恵器甕（平行→ナデ　同心円）、須恵器、瓦（瓦質　平瓦）、土師皿（ヘラ切り）1点、土師椀、捏ね鉢？［古墳時代］土師器（高坏脚部1点、坏部1点、甕　多、鉢）	
159	Ⅱ区5面	土坑	近世～	円形	65		陶器皿（近世～）、白磁皿、合子、須恵器甕、須恵器高台坏、瓦（瓦質　土師質）、土師皿（糸切り）、瓦質、土師甕（古墳時代）	
160	Ⅱ区2面	撹乱	近世				白磁、染付皿、青磁高坏、陶器甕、陶器大甕、陶器、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り　1枚）、土師器甕、土師甕（古墳時代　多）	
161	Ⅱ区2面	土坑	中世？			31	白磁皿、白磁、染付、陶磁、陶器甕、須恵器高台付坏、瓦（瓦質　平瓦、軒丸　巴文）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師器甕、滑石、鉄片	
162	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	11～12Cか	円形	50	4	土師椀、白磁、土師皿（糸切り2点　別個体）、土器片4点、	
163	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	不明	円形	34	5	陶器壺、土器片1点のみ	
164	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	中世？	円形	47	5	土師坏（糸切り）2点のみ	
165	Ⅰ区3面	土坑？	不明	不整楕円形		20	陶器片1点、土器片6点（不明）	
166	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	12C	円形	33	6	白磁碗Ⅳ類1点、土師皿（糸切り　1点）、土器片2点（1点は古墳時代か）	
167	Ⅰ区3面		近世				白磁碗、青磁、陶器鉢、陶器甕、須恵器、七輪、瓦（瓦質　平瓦）、土師皿（糸切り）、土師坏（糸切り）、土師器甕　［古墳時代］甕、鉢	

遺構番号	場所	性格	時代	形状	大きさ	深さ	遺物	備考
168	Ⅰ区3面	井戸（石組み掘方）	近世		670	120	同安窯青磁、龍泉窯系青磁碗Ⅰ・Ⅱ類、白磁碗Ⅳ類、白磁皿Ⅸ類、白磁水注、白磁壺（中世〜近世）、染付皿（近世）、陶器（甕）、常滑甕（14〜15C）、陶器擂鉢、陶器甕、須恵器坏、須恵器高台付坏、須恵器大甕、須恵器甕（多）、瓦（須恵質→格子　古代　・瓦質→平瓦・丸瓦）、土師坏（糸切り　多）・皿（多）、土師椀、土師器甕、瓦器椀、瓦質擂鉢（12〜13C）、土鈴　［弥生〜古墳時代］土器（多）、二重口縁壺、甕片多い、袋状口縁、高坏脚部、砥石、蛸壺	
168井筒周辺	Ⅰ区3面	井戸（石組み掘方）	不明				越州？鉢、白磁碗Ⅴ類、陶器壺、土師椀、土師甕、土器、瓦（瓦質　丸瓦・平瓦　軒丸の巴文）、	
168下層	Ⅰ区2面	井戸（石組み掘方）	近世				白磁、陶器甕、須恵器甕（格子・同心円）、瓦（須恵質1点、他は瓦質）、土師椀、土師坏（糸切り・ヘラ切り）、土師器甕、瓦器　［古墳時代］　甕　［弥生時代後期］　甕底部	
168井筒内	Ⅰ区3面	井戸（石組み掘方）					白磁皿、白磁碗、須恵器甕、須恵器高台付坏、瓦（瓦質）、土師坏（糸切り）、土器、瓦器椀、瓦器	14C以降の遺物は見られない
168石組	Ⅰ区3面	井戸（石組み掘方）	不明				瓦（瓦質　平瓦）、土器片3点	
168最下層	Ⅰ区3面	井戸（石組み掘方）					白磁碗、須恵器甕、土師椀、土師器甕、（古墳時代　甕　多、高坏、蛸壺？）　鉄片	
168井筒周辺黒色土	Ⅰ区3面	井戸（石組み掘方）					瓦（瓦質　平瓦2点）、青磁碗？、白磁、土師器椀、土器	
169	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	12C〜	円形	61	25		
170	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	12〜13Cか？	不整楕円形	65	16	白磁　1点、陶器　2点、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、土師椀高台部	小片のみ
171	Ⅰ区3面	柱穴状遺構		円形	36	15	同安窯系青磁、須恵器（甕　2点　別個体）、土師皿（糸切り）・坏（糸切り）、土師器甕（不明）、釘	小片のみ
172	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	不明	円形	30	20	須恵器甕　1点、土器　2点	
173	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	不明	円形	43	18	瓦（瓦質　平瓦）、土師皿（糸切り・板状圧痕）1点、土師甕（古墳時代　3点）、土器	小片のみ
174	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	不明	円形	21	17	土器片7点	小片のみ
175	Ⅰ区3面	柱穴状遺構		円形	53	21	土師坏（ヘラ切り）、陶器　1点（甕）、須恵器片（坏蓋　2点　古墳時代末）、坏（古代）8点、土師坏（不明）・皿（糸切り）、土器	
176	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	中世前半	楕円形	31	21	白磁底部（13Cか）、土師皿（糸切り）2点、黒色土器B椀、土器	小片
177	Ⅰ区3面	土坑	12〜13Cか	円形		46	白磁皿、白磁碗、陶器盤、陶器小鉢、須恵器甕（6点　別個体）、土師坏（糸切り　多）・皿（糸切り　多）、土師椀、瓦器（少）	
178	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	不明	円形	28	20	土師坏2点（不明）、土器片4点	
179	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	中世？	楕円形	36	14	瓦質、土師椀、白磁　1点、土師皿　4点、土器　3点	極小片のみ
180	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	不明	円形	45	14	須恵器、　［弥生〜古墳時代］　壺？、土器　5点	
181	Ⅰ区3面	柱穴状遺構	近世	楕円形		11	白磁碗、白磁碗Ⅳ類、青磁、同安窯系青磁、染付、陶磁瓶、陶磁鉢（近世か）、陶磁鉢（近世か）、陶器盤（13C）、陶器大甕、ガラス坩堝（陶器壺）、須恵器甕（3点別個体）、須恵器坏蓋つまみ（8C）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り・ヘラ切り　糸が多い）、土師椀？、土師器甕、土師質擂鉢、瓦器椀、黒色土器B椀、蛸壺、瓦（瓦質　平瓦）　［弥生〜古墳時代］壺突帯数種あり、土師甕	
182	Ⅰ区3面	土坑	11〜12C		75	39	白磁碗Ⅳ類、白磁、黒色土器椀B類、蛸壺（8点　2〜3個体）、　［古墳時代］　鉢、甕	
183	Ⅰ区3面	柱穴状遺構		楕円形	45	29	白磁　3点、須恵器甕、須恵器坏蓋（8C）、瓦（瓦質　土師質）、土師坏（ヘラ切り　2点）、土器、蛸壺　5点、　［古墳時代］鉢、甕、壺突帯	
184上層			中世末〜近世				染付皿2点、白磁碗Ⅳ類、龍泉窯系青磁碗、陶器盤（不明）、陶器、青磁碗（高麗？）、須恵器甕、瓦（瓦質　土師質）、土師坏（糸切り）、土師器甕、瓦器、土師器（甕・鉢）	
184砂層			中世？				白磁1点、陶器盤1点、滑石　1点、土器　［古墳時代］　土師器、甕、壺の突帯、鉢？	
185	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	近世			17	染付1点、須恵器甕（平行　同心円）1点、瓦？（1点）、土器	
186	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	中世後半〜近世か	隅丸方形	63	58	白磁碗（不明）、白磁　2点、龍泉窯系青磁　1点、陶器碗、陶器擂鉢、須恵器甕（ナデ・ナデ）、須恵器高台付坏（8C）、瓦（瓦質・土師質）、土師皿（糸切り1点・ヘラ切り1点）、土師坏（糸切り1点）、土師甕（古墳時代）、土師器擂鉢（12C）、土師器盤（不明）、円筒埴輪、鉄片	
187	Ⅱ区3面	井戸？	近世	隅丸方形	149	179	青磁、白磁、染付、陶磁皿、陶磁甕・壺？、七輪、須恵器甕（2点）、瓦（瓦質　丸瓦・平瓦）、軒丸瓦、土師坏（糸切り　多・ヘラ切り1点）、土師椀（多　11〜14C）、火鉢、土師甕（多）、土器（多）、須恵器大甕、須恵器坏（8C）、須恵器坏（古代）、須恵器高台付坏　［古墳時代土器］甕（多）、二重口縁壺、鉢？	
188	Ⅱ区3面	土坑	近世	楕円形	100	38		
189	Ⅱ区3面	土坑	中世後半	楕円形	166	58	白磁片、陶器　3点、土師皿（糸切り）、土師坏（糸切り）、瓦質擂鉢、土師甕（多）、蛸壺、土器（多）　［古墳時代］高坏脚部2点、壺、甕（多）	
190	Ⅱ区3面	土坑	不明（近世？）」			45	白磁碗片（不明）、瓦片（瓦質　小片3点）、土器小片（甕か）	
191	Ⅱ区3面	土坑	11〜13Cか			17	白磁　1点、須恵器甕　1点、須恵器坏（8C）、須恵器、　［古墳時代］甕片（多）、壺？突帯部、蛸壺、円筒埴輪	
192	Ⅱ区3面	土坑？				29		
193	Ⅱ区3面	土坑				31		
194		土坑	不明	隅丸方形	94	29	白磁碗　1点、陶器甕　1点、土師器甕（不明）、土器片　点	
195	Ⅱ区3面	土坑？	中世後半〜近世	隅丸方形	125	27		
196	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	不明	隅丸方形		12	土師甕（不明）1点、土器	
197	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	不明	円形	41	17	土師皿（糸切り）1点、土器　2点	
198	Ⅱ区3面	柱穴状遺構		楕円形	50	10		
199	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	不明		28	19	土師皿（糸切り）2点、土器　13点	
200	Ⅱ区3面	溝状遺構	中世後半〜近世		55	2	染付片1点のみ、白磁小片1点のみ、陶磁片1点のみ、土師坏（糸切り）、土師皿（不明）1点、土師椀（1点のみ）、土器片	
201	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	13末〜14C	円形	75	7	龍泉窯系青磁1点.、白磁皿Ⅳ類、陶器壺、陶器7点（甕か→別個体）、土師質擂か、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師甕（不明）、土器、瓦器　［古墳時代］二重口縁壺、甕、高坏脚部	
202	Ⅱ区3面	土坑？	中世後半		63	19	陶器瓶、陶器耳壺、瓦質火鉢（15C〜）、土師坏（糸切り）土師甕（不明）　［古墳時代］　土師甕、壺突帯部	
203	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	古墳時代？	円形	38	9	小型鉢（古墳時代？）小片1点、土器片1点	
204	Ⅰ区2面	旧河川？						
204トレンチ最下層河川砂	Ⅰ区2面		近世				同安窯系青磁、青磁、白磁碗Ⅳ類・Ⅴ類、染付、白磁皿Ⅸ類、白磁碗、白磁小碗、陶器壺、陶器鉢、陶器水注、陶器甕、須恵器甕、土師坏（糸切り）、土師皿（多　糸切り）、土師椀、土師甕（不明）、土師器鉢、瓦質擂鉢、土師甕	
204茶褐色埋立土	Ⅰ区2面						青磁碗、龍泉窯系青磁碗Ⅱ-a・蓮弁C群、同安窯系青磁、白磁皿Ⅷ類、白磁碗Ⅴ類・Ⅳ類、白磁、染付（ベトナム）、陶器盤、陶器（甕か）、須恵器甕、瓦（瓦質　丸瓦、平瓦）、蛸壺、火鉢、灯明皿（土師皿）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師椀、瓦器、火鉢？、土師甕（多量）、器種不明土器片（多）、　［古墳時代］　高坏脚、土師甕	
204-1	Ⅰ区2面	旧河川？						
204-1 4面下	Ⅰ区2面		12〜14C				龍泉窯系青磁碗（12〜14C）、龍泉窯系青磁浅型碗、同安窯系青磁、白磁碗Ⅳ類、白磁壺？（多）、陶器壺、陶器甕、陶器、須恵器甕、須恵器高台付坏、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、土師椀、瓦器、瓦質擂鉢、土師甕（不明）、鉄滓　［古墳時代］甕10点以上→別個体、土師鉢	
204-1 4面下	Ⅰ区2面		中世後半？				龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、青磁皿、白磁、白磁合子、染付（ベトナム？）、須恵器甕片（9点→別個体）、陶器、陶器鉢、陶器甕（多種）、陶器擂鉢、土師皿（糸切り）、土師質擂鉢、瓦質擂鉢、火鉢？、土師坏（ヘラ切り）、器種不明土器片（多）、瓦（瓦質・土師質　22点、鬼瓦・平瓦・丸瓦）	
204-1最下層	Ⅰ区2面		14〜15C				龍泉窯系青磁碗Ⅰ-4類・Ⅱ-a類、青磁皿、白磁碗Ⅳ類、白磁小皿、陶器盤Ⅰ-1b、陶器甕、備前擂鉢（14〜15C）、陶器鉢、須恵器甕（平行　ナデか）、須恵器坏蓋、瓦（瓦質・土師質・須恵質）、瓦玉？、土師坏（ヘラ切り・糸切り）、土師皿（ヘラ切り・糸切り）、土師椀、火鉢、瓦質、土師質擂鉢、瓦器椀　［古墳時代］甕（多）、高坏脚部）　滑石、土錘	

遺構番号	場所	性格	時代	形状	大きさ	深さ	遺物	備考
204-1・204-2間ベルト	Ⅰ区2面						龍泉窯系青磁、青磁碗底部（見込?）、白磁碗Ⅳ類、白磁碗底部、白磁、陶器鉢、陶器壺?、陶器甕、瓦（瓦質）、土師坏（糸切り・ヘラ切り）、土師皿（糸切り）、器種不明土器片（多）［古墳時代］甕、器台、円筒埴輪小片1点のみ、二重口縁壺	
204-2	Ⅰ区2面	旧河川?	不明				白磁碗、土師皿（糸切り）、瓦器。	細片のみ
204-2砂層直上	Ⅰ区2面		13C～				越州窯系青磁碗、白磁碗Ⅷ類底部、白磁碗底部、白磁皿Ⅸ類、白磁碗Ⅳ類、白磁、龍泉窯系青磁碗Ⅰ・Ⅱ類・蓮弁C群、染付碗、陶器壺、陶器甕、陶器大甕、陶器鉢（中国）、陶器擂鉢、須恵質（甕（多種）、壺、坏蓋（8C）、坏（6C）、高台坏、鉢）、土師皿（糸切り 多）、土師坏（糸切り 多）、瓦器鉢（12C）、土師椀、土師甕（不明）、多数器種不明土器片（多）、瓦質鉢 鉄滓、瓦（土師質・瓦質）［古墳時代］壺、二重口縁壺、甕（多）、高坏脚部、円筒埴輪、土錘、石［弥生中期後半］甕棺片	
204-2 3～4面掘下げ	Ⅰ区2面						龍泉窯系青磁碗Ⅱ類・蓮弁C群（16C）、青磁碗、龍泉窯系青磁口縁Ⅰ-2、白磁碗、白磁皿、染付碗2点、陶器壺、陶器、火鉢、陶器甕（12～13C）、陶器、須恵器甕、須恵器壺、須恵器坏蓋、須恵器高台付坏、瓦（瓦質→丸瓦・平瓦、須恵質→丸瓦）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師椀、瓦質擂鉢、石製品、鉄滓不明土器片（多量）［古墳時代］土師器甕（多）、小型丸底壺1点	
204-3	Ⅰ区2面	旧河川?						
205	Ⅱ区3面	土坑	不明	楕円形	148	34	土師器甕（古墳時代）2点、土器片6点（不明）	
206	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	古墳時代?	円形	76	13	土器片（古墳時代か）	
207	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	不明	円形	58	28	陶器（瓶か）、土師甕（古墳時代か）6点、土器片	
208	Ⅱ区3面	柱穴状遺構	不明	隅丸方形	75	12	瓦（土師質丸瓦）タタキは不明、須恵器片、土師坏（糸切り）、土器片	
209	Ⅱ区3面	土坑	中世後半～近世か		183	46	白磁碗Ⅺ類、白磁碗Ⅱ類、白磁碗、陶器碗（中～近世?）須恵器甕、須恵器擂鉢、瓦（瓦質 、須恵質→ナデ・布目圧痕）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師甕（不明）、瓦器、不明土器（多）、鉄滓、［古墳時代］二重口縁壺、土師甕、小型丸底壺←小片（多）、	
210	Ⅱ区3面	柱穴状遺構		円形	76	5		
211	Ⅱ区2面	柱穴状遺構	不明	楕円形	55	50	土師坏（不明）、瓦（瓦質）	
212	Ⅱ区4面	土坑	11～12C	隅丸方形	178	54	白磁（1点）、須恵器甕（多種類）、須恵器坏蓋、須恵器坏、黒色土器B椀、土師椀3点（別個体）、土師坏（ヘラ切り）、土師甕（不明）、［古墳時代］器台、土師甕（多）、甑壺、小型丸底壺、円筒埴輪	
213	Ⅱ区4面	攪乱	近現代	隅丸方形	255	10	ガラス瓶、コンクリート、白磁碗Ⅳ類底部、白磁小碗、青磁、染付碗（3種）（近代）、陶器擂鉢、陶器、瓦（瓦質 丸瓦・平瓦）、須恵器（甕、坏蓋、壺?）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師質擂鉢、土師甕、器種不明土器（多）、［古墳時代］甑壺、円筒埴輪、土師壺、赤色顔料付着土器	
214	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	不明	円形	35	42	染付、土器（3点）、瓦かも	
215	Ⅱ区4面	柱穴状遺構		楕円形	55	8	白磁皿、瓦（瓦質→平瓦瓦当、土師 縄目・ナデ）、土器片 16点	
216	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	不明	円形	43	8	土器片1点のみ	
217	Ⅱ区4面	土坑	近世		250	23	白磁皿Ⅸ類、白磁、染付碗、陶器大甕、陶器、須恵器 3点、瓦片（瓦質）、土師皿（糸切り）、土師甕（不明）、土師甕（古墳時代）	
218	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	古墳時代前期		26	7	土師甕、（古墳時代）2点のみ	
219	Ⅱ区4面	土坑	不明		128	20	土師椀、土師坏、土師甕（古墳時代か）、土器、瓦（瓦質）、	
220	Ⅱ区4面	土坑	12～14Cくらい			41	白磁碗（Ⅱ-0類）、白磁碗片、陶器甕片、陶器大甕片、須恵器甕片（格子 青海波文）、須恵器高台付坏、瓦（瓦質 丸瓦）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）土師甕片（不明）（多）、瓦質擂鉢、	
221	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	中世か	円形	30	4	白磁 1点、土師坏（糸切り）1点、不明土器7点	
222	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	中世後半			1	青磁碗、備前擂鉢、土器片（7点）	
223	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	不明	楕円形	34	11	土器小片（11点）	
224	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	不明	小判形	48	7	土師皿（1点）、不明土器（10点）	
225	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	不明	円形	42	14	須恵器甕（平行 青海波文）、須恵器坏蓋、土師坏（糸切り）、土器	
226	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	中世?	隅丸方形	68	21	白磁、瓦（瓦質）、須恵器高台付坏、土師坏（糸切り）、土師皿、土師甕（古墳時代?）、土器10点	
227	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	不明			7	土器片5点	
228	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	不明			4	土師坏（糸切り）1点、土器 3点	
229	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	古墳時代	円形	37	18	土師甕（古墳時代 多）、土器片	
230	Ⅰ区4面	溝状遺構	不明		30	18	土師甕（古墳時代?）、土器 4点	
231	Ⅰ区4面	土坑?	中世		62	8	白磁 2点、高麗青磁陶器、瓦（瓦質 平瓦）、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、土師椀、瓦器、滑石	
232	Ⅰ区4面	柱穴状遺構		小判形	45	26	青磁、白磁、瓦（瓦質 平瓦）、土師皿（糸切り）3点、土器。	細片多い
233	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	中世	不整楕円形	65	39	白磁碗底部、白磁、陶器、瓦（瓦質 土師質）、土師甕（不明）、土器（細片）	
234	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	中世	円形	30	27	土師椀 1点、土師皿（糸切り）1点、土師甕（不明）1点、土器3点	
235	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	中世				土師坏（ヘラ切り）、瓦器椀（12C～）、瓦質擂鉢	
236	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	中世	円形	45	13	土師椀、土師椀高台部、土師質甕（中世）、灯明皿（土師坏?）、土器 10点	
237	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	不明	円形	32	10	土器 3点のみ	
238	Ⅰ区4面	柱穴状遺構		楕円形	80	31	土師皿（糸切り）、土師坏（不明）、土師甕、土器、瓦	
239	Ⅰ区4面	土坑		円形	120	18	白磁碗底部、白磁、江南三彩? 1点、染付 1点、陶器 1点、須恵器2点、瓦質擂鉢、土師椀、土師皿（糸切り）、土師質甕（不明）、瓦（瓦質、1部須恵質 平瓦 多、軒丸片あり）	
240	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	12C末～	楕円形	56	17	土師皿（2点）、同安窯系青磁（1点）、陶器（1点）、土器（2点）	
241	Ⅰ区4面	土坑	中世?			39	青磁、白磁、染付、陶器、須恵器（2点。）、瓦（須恵質1点）、土師坏（糸切り 3点）、土師皿（不明）、土師甕（多）、小型丸底壺（古墳時代）、土師甕（古墳時代）、器種不明土器（多）	
242	Ⅰ区4面	河川?					龍泉窯系青磁椀Ⅱ類、青磁碗底部、白磁碗、陶器甕、陶器、須恵器甕、須恵器高台付坏（2点 別個体）、須恵器鉢?、瓦（瓦質、須恵質）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り・ヘラ切り）、土師椀、瓦質擂鉢、土師器甕（古墳時代～中世）、器種不明土器（多）、羽口	
243	Ⅰ区4面	土坑	14C		107	31	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白磁碗Ⅷ類、白磁皿Ⅵ・Ⅸ類、陶器擂鉢、陶器、須恵器甕?（3点 別個体）、須恵器坏蓋、瓦（須恵質）、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、瓦質、土師質甕、鉄滓、土師器甕（古墳時代）	
244	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	12～13C	円形	30	20	白磁 1点、土師皿（糸切り）、土師坏（ヘラ切り、糸切り）、土師器甕（古墳時代）、土器	
245	Ⅰ区4面	土坑?			122	21		
246	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	中世末～近世		57	18	青磁 1点、白磁碗Ⅳ類、白磁皿、白磁碗底部、染付碗（混じり込み）、陶器甕、陶器、須恵器坏蓋（8C）、瓦（瓦質→平・丸）、土師器高台付坏、土師器甕（不明）、甕（古墳）、土器片（多）、鉄滓	
247	Ⅰ区4面	土坑	中世か		54	7	土師坏（糸切り）、土師器甕、土器 2点。	
248	Ⅰ区4面	土坑?	12C		135	29	白磁、瓦器椀、土師椀、土師坏（ヘラ切り）、土師甕（古墳時代 4点 別個体）	
249	Ⅰ区4面	柱穴状遺構	12～13C		36	47	白磁皿、白磁（11～13C）、瓦器椀、土師坏（不明）、土師椀、土師甕（古墳時代か）、不明土器	
250	Ⅰ区4面	溝状遺構	中世～近世		78	24	白磁小碗、白磁、染付小碗、陶器碗、陶器（甕か）、須恵器甕（3点 別個体）、須恵器、瓦（瓦質4点→丸瓦・平瓦 土師質1点→平瓦）、土師皿（糸切り）、土師質甕（不明）、器種不明土器（多）、甑壺 ［古墳時代土器］円筒埴輪、甕片7点、椀?1点	
251	Ⅱ区4面	溝状遺構	不明		88	14	瓦（瓦質 丸瓦）2点、白磁（不明）、土器	
252	Ⅱ区4面	柱穴状遺構	不明	円形	77	7	瓦（瓦質 平瓦）2点	
253	Ⅱ区4面	溝状遺構	中世		35	15	青磁、土師椀（ヘラ切り）、土師皿（糸切り）、土器	
254	Ⅱ区4面	溝状遺構	近世?			76	青磁碗?、白磁碗8点、白磁皿1点、染付碗片2点（近世か）、陶器鉢、陶器甕、須恵器甕、須恵器坏?（古代か）、火鉢（15C）、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、瓦器、土師器甕、土器（多）、滑石1点、鉄滓2点、釘2点、円筒埴輪	257と同一遺構
255	Ⅱ区4面	堀?	近世				白磁碗Ⅳ類、白磁、陶器、須恵器捏鉢（14C前後）、瓦器鉢（12C?）、土師皿（糸切り 少）、土師器甕、土器、滑石	
256	Ⅰ区5面	井戸（瓦）	近世		85		白磁 4点、須恵器坏（古代）、須恵器甕、土師椀、土師皿（糸切り）、土器、鉄滓	
257			不明				土器 3点	

遺構番号	場所	性格	時代	形状	大きさ	深さ	遺物	備考
258			中世？				白磁、陶器、須恵器２点（甕か？）、土師皿（糸切り）、土器	小片のみ
259	Ⅰ区４面	土坑	11～12C	円形	145	98	白磁碗Ⅳ類、白磁２点、陶磁３点（不明）、須恵器甕２点（ナデ・青海波文→ナデ、平行・同心円文？）、須恵器長頸壺？、須恵器坏（ヘラ切り）、土師椀、土師皿（糸切り）、土師器坏蓋、（8C）、瓦器（甕か）、土師甕片（古墳時代）、砥石２個、土錘、円筒埴輪	
260	Ⅰ区５面	井戸（瓦）	15C	円形	155	23	白磁皿（15C）、青磁、染付、陶器、須恵器高台付坏、須恵器甕、瓦（瓦質丸瓦、平瓦）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り、ヘラ切り）、土師器甕（多）、土師器壷（古墳時代前期）、土器	
261	Ⅱ区５面	不明	14～15Cか			61	青磁碗、青磁、白磁碗Ⅳ・Ⅴ類底部、陶器擂鉢（15C）、陶器甕、須恵器大甕（４個　別個体）、土器玉（須恵器大甕製）、瓦（瓦質）、土師坏（糸切り　多）・皿（糸切り）、瓦質捏鉢、土師器甕（多）、滑石　［古墳時代］円筒埴輪、土師器甕、壺	
262	Ⅱ区５面	柱穴状遺構	不明	円形		11	瓦器椀、土師皿（糸切り）、土器、土師器（古墳時代）	
263	Ⅱ区５面	土坑				29	青磁碗（14C）、白磁碗、白磁皿、陶器鉢口縁（13末～14C）、陶器、瓦（瓦質・土師質）、土師坏（糸切り）１点・皿（糸切り）２点、不明土器（多）　［古墳時代前期］甕片　［弥生後期］壺突帯	
264	Ⅱ区５面	柱穴状遺構		円形	59	7		
265	Ⅱ区５面	土坑	近世	隅丸方形	321	54	陶器（碗　５～６種、皿　数種、鉢）、須恵器甕、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、瓦質鉢（12C）、土師器甕（古墳時代）	
266	Ⅱ区５面	溝状遺構			20	4		
267	Ⅱ区５面	溝状遺構			44	13		254と同一
268	Ⅱ区５面	柱穴状遺構		円形	81	5		
269	Ⅱ区５面	不明				19	陶器（甕）、須恵器甕、土師器鉢？（古墳時代）、土師甕（古墳時代）、土師器高台付皿（古代　穿孔有り）	
270	Ⅱ区５面	溝状遺構？	11～12C				白磁碗Ⅳ・Ⅴ類、青磁、水注頸部？、陶器甕、須恵器甕、瓦（須恵器）、土師坏（ヘラ切り　１点）、土師皿（糸切り）、土師甕　［古墳時代］土師甕、二重口縁壺、壺？（弥生後期～古墳時代前期の壺棺？）	
271	Ⅱ区５面	水田遺構？	近代以降				白磁碗Ⅳ類、白磁（蓋２点、合子）、陶器皿、染付碗、染付皿、陶器擂鉢、陶器甕、須恵器甕、須恵器坏（8C後半）、瓦（瓦質・須恵質・土師質　軒丸あり）、土師椀、土師坏（糸切り　多）、皿（多）、瓦器片、土師甕（多）、瓦質擂鉢、火鉢、銅片、瓦、鉄片　［古墳時代］高坏脚部、土師器甕（多）、円筒埴輪？、Ｌ型口縁（弥生時代）	
271下層	Ⅱ区５面		15C？				白磁碗Ⅳ類、白磁皿、染付、陶器（甕か）、須恵器（甕10点→別個体　平行・格子・ハケ）、須恵器坏蓋、瓦（瓦質）、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、瓦質擂鉢、土師甕（多）、瓦質火鉢（15C）［古墳時代］甕（五様式系タタキ）、甕　多数、壺（突帯付）３点別個体、高坏脚部２点（１点、ミガキによる暗文←古墳時代前期）、鉢２点、器種不明土師器片（多）	
272	Ⅰ区５面	井戸（瓦）	11Cか	円形	77	25		
273	Ⅱ区５面				163	34	白磁碗Ⅱ・Ⅳ類、白磁皿（11～13C）、白磁水注、青磁碗、龍泉窯系青磁Ⅰ類、陶磁、染付小碗、陶器（甕か）、須恵器甕（8個以上）、須恵器高坏、須恵器高台付坏（7C）、須恵器坏蓋、瓦（瓦質・須恵質→薄手・軒丸瓦有り）、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、土師器鉢、土師甕（多）、器種不明土器（多）、瓦器片（少）　［古墳時代］土師甕（多）、土師椀、器台、壺？突帯　二重口縁壺、円筒埴輪	
274	Ⅰ区２面	土壙墓	近世	円形	69	58	白磁碗片Ⅴ類、須恵器甕小片２点、土師質鉢、瓦（塼？）、土器片	ヒト頭蓋骨出土
275	Ⅰ区５面	井戸？	不明				土器片　５点、土師皿（不明）	
276	Ⅰ区５面	土壙墓						
277	Ⅰ区５面	河川トレンチ						
277上層	Ⅰ区５面		11～12C				白磁碗Ⅳ類、白磁皿、陶器、須恵器甕　３種、須恵器高台坏、須恵器壺？、土師椀３個体、土師坏（糸切り）・皿（糸切り）、土師甕（多）、土器、釘、馬歯　［古墳時代遺物］器台、高坏脚部、土師甕片（多）、小型器台、鉢、壺突帯、［弥生時代］Ｌ型口縁	古墳時代遺物多い
277トレンチ	Ⅰ区５面						龍泉窯系青磁香炉（15C）、白磁碗Ⅳ・Ⅴ類？、白磁、須恵質甕（５種）、須恵器高台付坏（8C　２個）、須恵器坏蓋（8C）、須恵器坏（8C）、須恵質捏鉢（２個体、１個は15Cか）、須恵器擂鉢、瓦（須恵質２点）、黒色土器椀Ｂ類・Ａ類、土師器甕（多）、土器（多）、土師皿（ヘラ切り）、［弥生時代遺物］甕、不明（赤色顔料塗布）　［古墳時代遺物］甕片（多）、壺、甑取手、鉢	
278		河川トレンチ	12～13Cか				白磁碗Ⅳ類、白磁６点、陶器壺、陶器甕（数種あり）、須恵器甕（多）、須恵器高台付坏、滑石石鍋、瓦（瓦質）、土師坏（糸切り）・皿（糸切り・１点のみヘラ切り）、土師甕、土器　、土師椀、瓦器椀［古墳時代時］甕、円筒埴輪？、砥石、甑取手	
278トレンチ			13C				白磁碗、瓦器椀（13C）、土師椀、土師坏（糸切り３・ヘラ切り１）、土師甕（不明）、砥石（２点別個体）、陶器（甕か）、須恵器甕、須恵器　１点、須恵器高台付坏、滑石製石鍋	
279								
279黒褐色土			13C				白磁碗Ⅳ・Ⅴ類、青磁、陶器甕（３種）、陶器壺、須恵器甕口縁、須恵器鉢（13C中～後半か）、瓦（須恵質　古代）、土師椀、土師坏（糸切り）、土師皿（ヘラ切り）、瓦器椀、土師器高坏脚部、土師甕、砥石、不明土製品、鉄器	
280	Ⅰ区２面	井戸（瓦）	近世以降	円形		213	瓦（平・丸・桟瓦）、青磁、白磁４点、陶器１点、須恵器３点（甕か）、須恵器高台付坏（7C後半）、土師坏（糸切り）、　［古墳時代］甕、小型鉢、二重口縁壺	
280井筒	Ⅰ区２面						瓦（丸瓦・平瓦）、磁器（近世）、土師皿（糸切り３点・ヘラ切り１点・不明１点）、擂鉢、土師甕（古墳時代）、鉄片	
Ⅱ区上面Ⅰ段下げ			近世・近代				瓦（瓦質→平瓦・軒丸瓦、　土師質→丸瓦・平瓦）、陶器（碗・皿）、染付皿、白磁碗、須恵器坏、須恵器甕（平行・同心円）、土師坏（糸切り）、土師器（多）、瓦器鉢、土師器［古墳時代］甕（多）、二重口縁壺口縁、壺突帯、高坏脚部、小型鉢？、小型丸底壺、砥石	
Ⅱ区1～2面掘下げ							白磁碗Ⅴ類・Ⅳ類底部、染付碗（近世）、七輪、陶器甕（11～13C）、陶器擂鉢（近世～）、火鉢（近世～）、須恵器甕（古墳時代～古代）、高麗青磁、緑釉陶器（時期不明）、瓦（瓦質→平瓦・丸瓦・土師質・須恵質→ナデ・布）桟瓦、陶器鉢（Ⅰ-1b）、錘？　瓦質火鉢（15C）、土師質（不明）、七輪、土師坏（糸切り・ヘラ切り）、土師皿（糸切り）、瓦質擂鉢　［古墳時代］甕（多）、壺突帯部、高坏、鉢？、円筒埴輪	
Ⅱ区3～4面間掘下げ							染付碗、陶磁碗、龍泉窯系青磁香炉？（13～14C）、白磁碗、白磁皿（Ⅵ類？）、須恵器甕？、陶器甕口縁（16C）、陶器擂鉢、須恵質甕、土師坏（糸切り）、土師皿（糸切り）、瓦質（捏ね鉢）、土師椀、土師器鉢、瓦（瓦質→丸瓦・平瓦・軒平瓦あり、須恵質→縄目）、滑石、黒曜石、坩堝　［古墳時代］甕、二重口縁壺、高坏脚部、器台、壺（突帯部）、土器片、円筒埴輪？	
Ⅱ区4～5面掘下げ							青磁碗、龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、染付碗（近世・近代）、白磁碗Ⅳ類・Ⅴ類？、白磁合子、白磁輪花皿、陶器碗、陶器大甕（数個体）、高麗青磁？、須恵器甕（数種　平行・格子・席状）、須恵器高台付坏、瓦（瓦質→平瓦・丸瓦　軒丸瓦あり（巴文）、須恵質→縄目・布目）、須恵質鉢、瓦質擂鉢、土師坏（糸切り　少）・皿（糸切り　少）、土師質甕（古墳時代？）、鉄滓　［古墳時代］甕（多）、高坏、壺突帯部、甕口縁、鉢？	
Ⅱ区粗砂上層							龍泉窯系青磁蓮弁Ｃ群（15～16C）、龍泉窯系青磁碗Ⅰ-2？、龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、青磁碗（13～14C）、龍泉窯系青磁皿、同安窯系青磁碗、白磁碗Ⅳ類・Ⅴ類？・ⅩⅡ-2b、白磁皿、白磁耳壺、白磁碗Ⅶ類、染付小碗、陶器碗（高麗？）、陶器大甕（多種）、陶器甕（常滑？　13C中）、陶器壺（径６～7cm）、須恵器甕（数個体）、瓦質瓦、須恵質丸瓦（縄目・ナデ・布）、土師器（古代）、瓦質火鉢、土師坏（糸切り・ヘラ切り　多）、土師質擂鉢（12C前～中）、瓦質擂鉢、土師椀、瓦質大鉢、土師皿（糸切り　多、ヘラ切り　少）、土師質甕、須恵器坏、土師器甑、須恵質擂鉢、羽口、坩堝、石鍋（Ⅱ-b　13C）　［古墳時代］甑、甕（Ⅴ様式系）、高坏、器台、小型丸底壺、壺突帯部、　［弥生時代中期］甕底部	古代遺物多い
Ⅱ区南側粗砂下層		河川堆積	中世後半				染付、青磁碗（近世？）、龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白磁碗Ⅱ類？・Ⅳ類、白磁碗、天目碗、陶器擂鉢（近世）、陶器甕（数個体）、陶器大鉢、須恵器擂鉢、須恵器甕（古墳時代、数個体）、須恵器高台付坏（8C）、須恵器坏蓋（7～8c）、瓦質瓦（縄目・布。）、須恵質瓦（縄目・ナデ・布目）、土製円板、砥石、鉄滓、鉄片、石鍋、土師甕（多）、土師坏（糸）、土師皿（糸）、土師椀、黒色土器Ａ類、［古墳時代］甕、二重口縁、壺突帯部、高坏、椀、鉢、丸底壺、器台、円筒埴輪	
2～3面掘下げ							白磁碗Ⅱ・Ⅳ類、陶器碗、染付碗、須恵器甕、須恵器高台付坏、瓦（瓦質→平瓦・丸瓦　土師質→平瓦）、土師坏（ヘラ切り・糸切り）、土師椀、甕？　［古墳時代］甕（多）、二重口縁壺、丸底壺	古墳時代遺物多い

図版 1

1. Ⅰ区 1 面(南東から)

2. Ⅰ区 3 面(南から)

1. Ⅰ区5面(南東から)

2. Ⅱ区3面(南から)

1. Ⅱ区 5 面（南から）

2. 第 5 面調査区全景（南から）

1. Ⅰ区1面(南西から)

2. Ⅰ区2面(南から)

3. Ⅰ区3面(南東から)

4. Ⅰ区4面(南から)

5. Ⅱ区3面(南から)

6. Ⅱ区3面北端(西から)

図版 5

1. SE 041 井筒検出状況（南西から）

2. SE 041 完掘（南西から）

3. SE 158 土層（西から）

4. SE 260（北から）

5. SE 272（北から）

6. SE 275（西から）

1. SE168（西から）

2. SE168（南から）

3. SE168井筒（西から）

4. SE168井筒土層

5. SE280（北から）

6. SE280井筒（南から）

図版 7

1. SK 153 遺物出土状況（南西から）

2. SK 212 土層（西から）

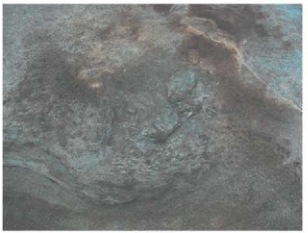
3. SK 259（北から）

4. SK 144（西から）

5. SK 187 完掘（北から）

6. SK 146（北西から）

1. SX 274（南西から）



2. SK 276（南東から）

3. SX 204（北から）

4. SX 204 土層（南から）

5. SD 154（南東から）

6. SD 154（南から）

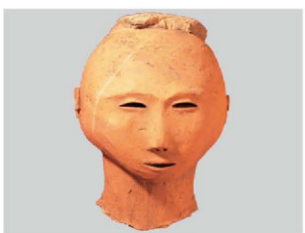
図版 9

1. SD154 北端か（西から）

2. 房州堀土層（西から）

3. 房州堀土層（南西から）

4. 房州堀北側立ち上がり（西から）



5. 人物埴輪正面

6. 人物埴輪側面

1. SX 271（北から）

2. SX 271 周溝杭出土状況（東から）

3. 水田下層動物足痕

4. SC 151（西から）

5. SC 151（南から）

6. SC 151 鋤壺出土状況（西から）

図版 11

1. Ⅰ区河川トレンチ土層

2. Ⅱ区東壁土層（西から）

3. Ⅱ区河川部確認トレンチ土層

4. SK 217 漆椀出土状況

5. SK 217 出土漆椀

6. SE 168 井筒

報告書抄録

書　　名	博多１２９
副 書 名	第171次調査報告
巻　　次	１２９
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財報告書
シリーズ番号	１０４１集
編集著者	屋山洋　編集機関　福岡市教育委員会　発行機関　福岡市教育委員会
作成法人ID	４０１３４　発行年月日　2009年3月31日
郵便番号	８１０－８６２１　住　所　福岡市中央区天神1 丁目8 番1 号
電話番号	０９２－７１１－４６６７
所収遺跡名	博多遺跡群第171次 ふくおかけんふくおかしはかたくぎおんまち
所 在 地	福岡県福岡市博多区祇園町566、585-1
コ ー ド	市町村　４０１３１　遺跡番号　０２０１２１
北　　緯	33° 35′ 26″　東　経　130° 24′ 41″
調査期間	20070219～20070615　調査面積　511㎡
調査原因	立体駐車場の建設　種別　集落、水田　主な時代　古墳時代、中近世

主な時代と遺構・遺物

古墳時代前期－竪穴式住居（飯蛸壺、土師器）
古代末～中世－井戸、溝、土坑、土壙墓、柱穴群、自然流路
近世－集落

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1041集

博多１２９

－第171次調査報告－

2009年（平成21年）３月31日

発　行　福岡市教育委員会
福岡市中央区天神1 丁目8 －1

印　刷　末松印刷株式会社
福岡市博多区東那珂2－4 －36